
今治市地域福祉計画アンケート調査 (団体・事業所アンケート)

調査報告書

令和2年3月

今治市 健康福祉部 福祉政策課

目 次

I	調査概要	1
II	調査結果の概要	2
III	団体・事業者アンケート分析結果	3
	問1 団体区分	3
	問2 活動分野	4
	問2-1 支援・サービスの質	8
	問2-2 支援・サービスの質の向上に必要な取組	10
	問3 地域住民との交流	11
	問4 地域行事への参加	13
	問5 地域活動への参加の奨励	15
	問6 地域課題・ニーズの把握	17
	問7 地域福祉の役割	19
	問8 他団体等との交流や協力	22
	問9 地域福祉活動計画の認知度	33
	問10 今治市が取組む施策	35
	問11 地域福祉活動活性化の取組	39
	問12 自由意見	43

I 調査概要

I 調査概要

- ・調査名：今治市地域福祉計画アンケート調査
- ・目的：次期今治市地域福祉計画策定の基礎資料とするため、「日常生活での課題」、「地域での助け合い」、「福祉サービス」等の観点から、市民及び団体・事業所に向けてニーズ調査を行いました。
- ・調査期間：令和元年12月～令和2年1月
- ・調査対象者：団体・事業所アンケート 市内の福祉関連団体及び事業所
- ・標本数：団体・事業所アンケート 300 団体
- ・配布方法：郵送方式

調査対象者	調査対象者数 (標本数)	回収数	有効回収率
団体・事業所アンケート	300	218	72.7%

2 報告書の見方について

- ・回答結果の割合「%」は、回答者数（n）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- ・複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答者数（n）に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、「%」合計が100%を超える場合があります。
- ・複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、クロス集計では、回答者数（n）は、無回答を除いた数となっています。
- ・グラフ及び表中に「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答条件に沿っていないものを含んでいます。
- ・グラフ及び表中の n（number of case）は、集計対象者総数です。

Ⅱ 調査結果の概要

Ⅰ 活動分野について

団体・事業所の活動分野は、「高齢者支援」、「障がい者支援」、「子育て支援・母子福祉」が上位回答になっており、平成 26 年度調査においても同じ順位であった。これらの活動分野の担い手は、「高齢者支援」は、「自治会等地域団体」と「民生委員・児童委員」、「障がい者支援」は、「NPO 法人」と「民生委員・児童委員」、「子育て支援・母子福祉」は、「民生委員・児童委員」が活動の主な担い手となっている。

また、「民生委員・児童委員」は、「虐待・ひきこもり・不登校対策」分野においても活動の主な担い手となっている。

2 団体等の支援及びサービスの質について

団体等の支援及びサービスの質については、全体 70%を超え、団体の区分ごとの回答でも 50%を超えており、自己評価は高くなっている。サービスの質の確保・向上に必要な取組みは、人材を確保し、職員の研修により、質の確保・向上に取り組んでいるが、人材の確保の難しさ、職員等の高齢化、研修や勉強会への参加者が少ないなどの課題がみられる。

また、多職種連携、介護と医療の連携、行政との共同などの連携を図ることで、情報の共有化、見守り活動の充実化を進め、地域住民との密な繋がりが諸問題の早期対応に繋がる取組として意見が挙げられている。

3 地域で福祉活動を推進するための取組について

団体・事業者は、地域住民と 68.8%交流しており、自治会等地域団体 91.1%、民生委員・児童委員 88.4%が高い割合となっていますが、生活関連サービス団体は 43.5%と低い状況です。

団体・事業所として地域住民の行事に 67.0%参加している状況ですが、NPO 法人は 46.2%と他の団体・事業者に比べて低い状況です。

地域の抱えている課題やニーズの把握は、63.7%把握しており、自治会等地域団体、民生委員・児童委員、医療機関が高い割合となっています

団体の地域福祉での役割は、関係機関との連携・情報共有、高齢者等への見守りや声かけは高い割合ですが、住民の相談窓口や地域の情報発信は低い割合となっています。

今後、地域での福祉活動を活性化させるための取組は、隣近所の住民同士の普段からの付き合いが挙げられており、市民アンケート結果でもあいさつ程度の近所づきあいの現状であることから、地域の繋がりをつくる取組みが重要となります。

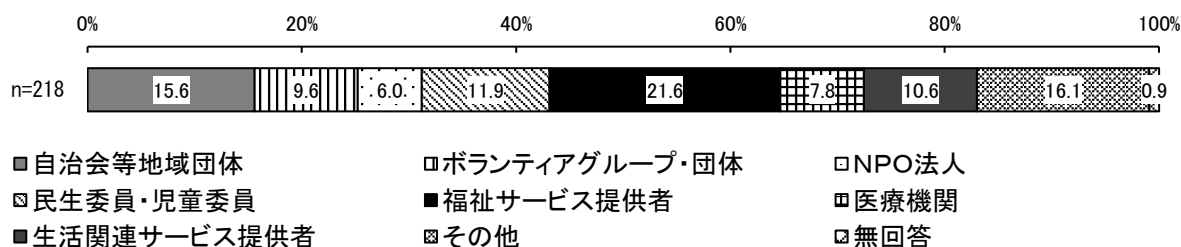
Ⅲ 団体・事業所アンケート分析結果

団体の概要について

問Ⅰ 貴団体の区分（形態）は次のうちどれですか。

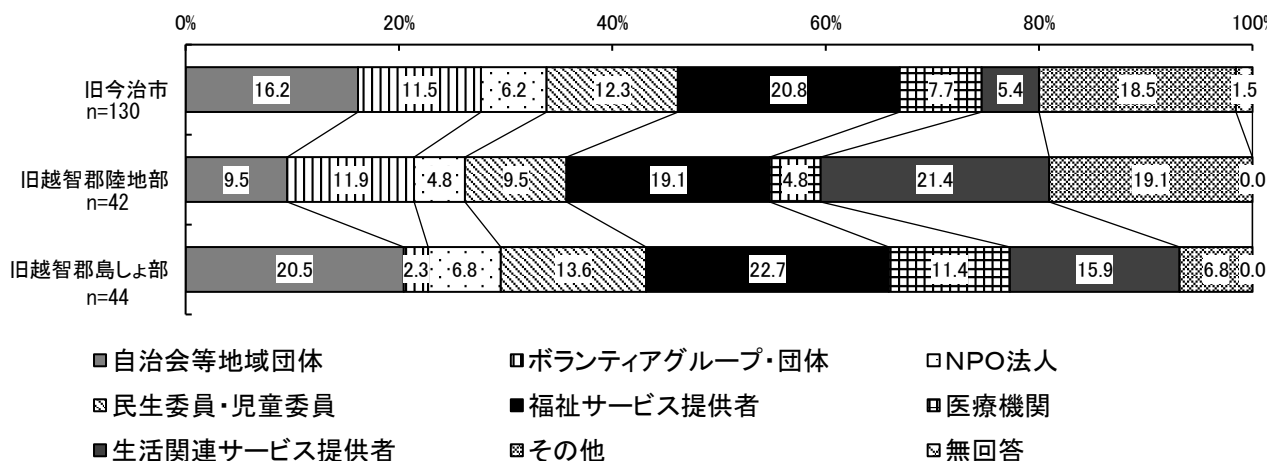
		(件)
1	自治会等地域団体(老人クラブ、子ども会など)	34
2	ボランティアグループ・団体	21
3	NPO法人	13
4	民生委員・児童委員	26
5	福祉サービス提供者	47
6	医療機関	17
7	生活関連サービス提供者(郵便・金融・生活用品小売業など)	23
8	その他	35
	無回答	2

団体の区分（形態）について聞いたところ、「自治会等地域団体」の割合が15.6%、「ボランティアグループ・団体」が9.6%、「NPO法人」が6.0%、「民生委員・児童委員」が11.9%、「福祉サービス提供者」が21.6%、「医療機関」が7.8%、「生活関連サービス提供者」が10.6%、「その他」が16.1%となっています。



【地区】

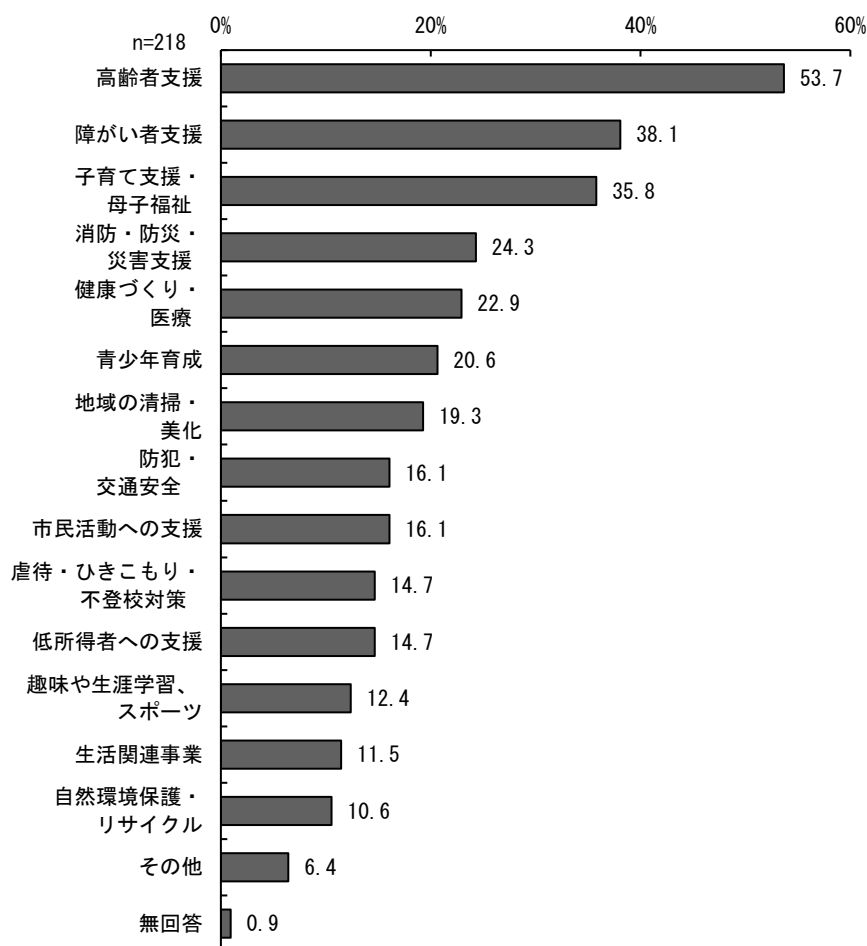
地区別にみると、旧今治市では、「福祉サービス提供者」の割合が20.8%と最も高く、次いで「その他」（18.5%）、「自治会等地域団体」（16.2%）となっています。旧越智郡陸地部では、「生活関連サービス提供者」の割合が21.4%と最も高く、次いで「福祉サービス提供者」と「その他」（それぞれ19.1%）、「ボランティアグループ・団体」（11.9%）となっています。旧越智郡島しょ部では、「福祉サービス提供者」の割合が22.7%と最も高く、次いで「自治会等地域団体」（20.5%）、「生活関連サービス提供者」（15.9%）となっています。



問2 活動分野は次のうちどれですか。

		〈複数回答〉(件)
1	高齢者支援	117
2	障がい者支援	83
3	子育て支援・母子福祉	78
4	健康づくり・医療	50
5	虐待・ひきこもり・不登校対策	32
6	低所得者への支援	32
7	地域の清掃・美化	42
8	消防・防災・災害支援	53
9	防犯・交通安全	35
10	自然環境保護・リサイクル	23
11	趣味や生涯学習、スポーツ	27
12	青少年育成	45
13	市民活動への支援	35
14	生活関連事業	25
15	その他	14
	無回答	2

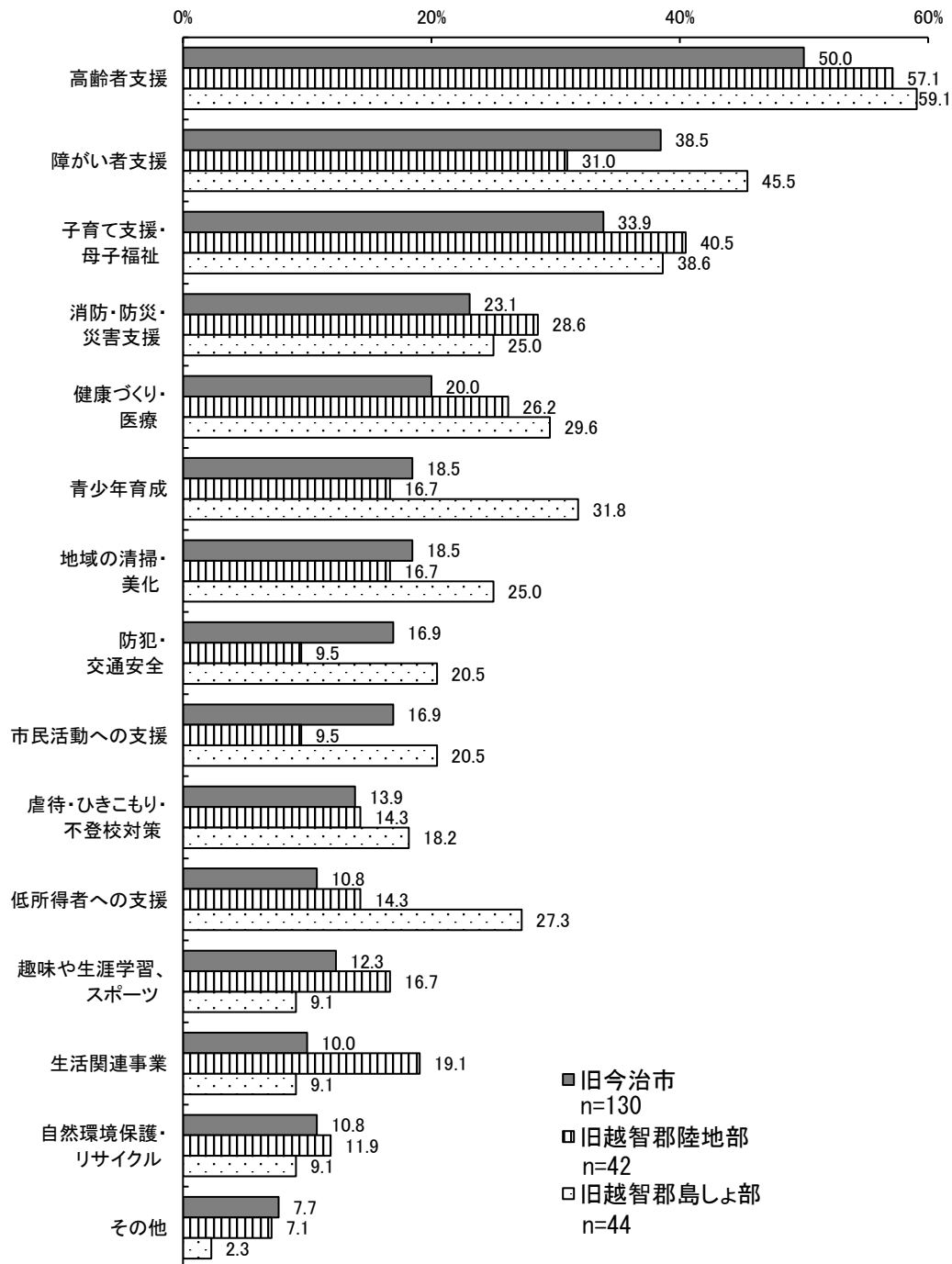
活動分野についてみると、「高齢者支援」の割合が53.7%と最も大きく、次いで「障がい者支援」(38.1%)、「子育て支援・母子福祉」(35.8%)となっています。



【地区】

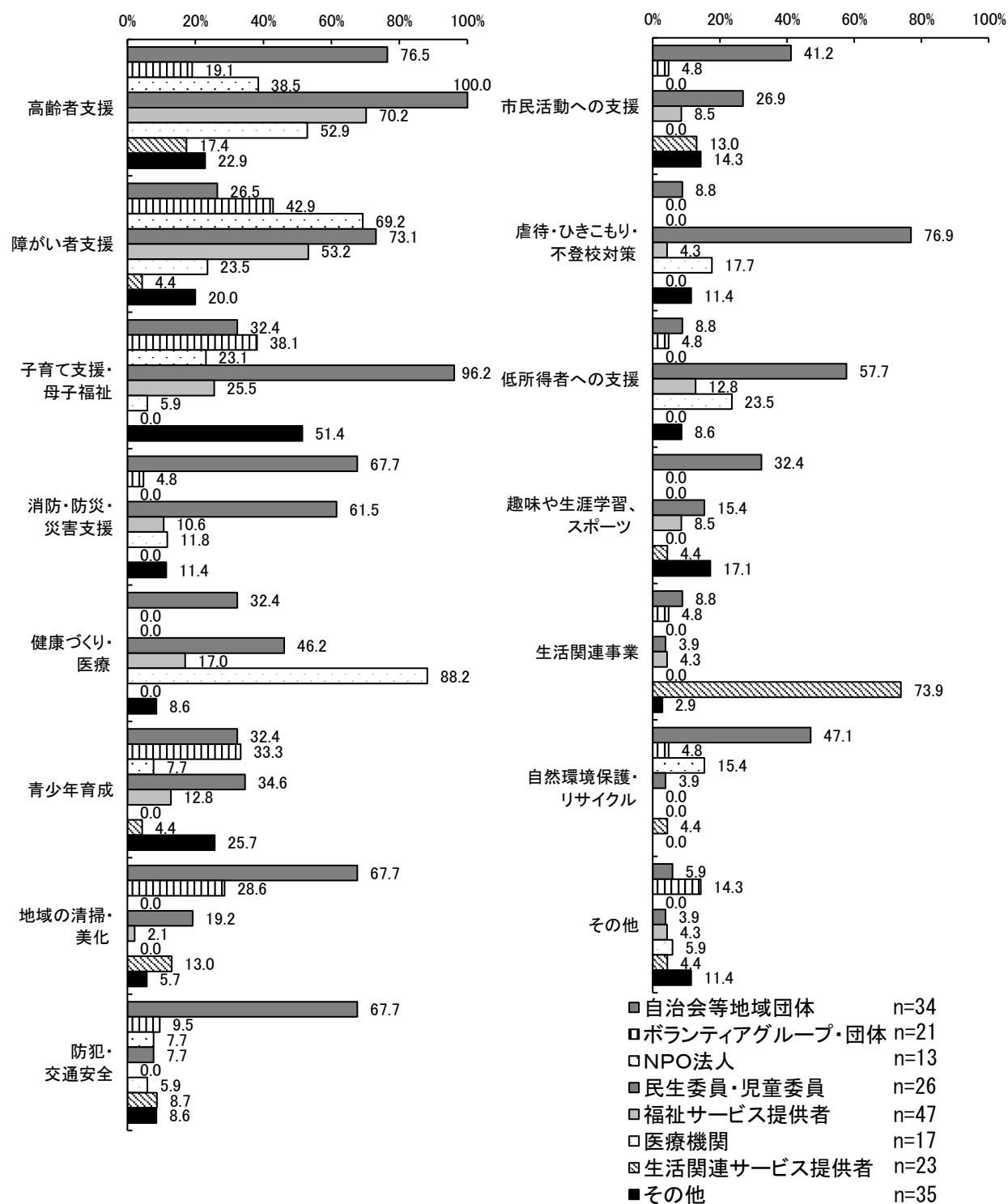
地区別にみると、旧今治市では、「高齢者支援」の割合が50.0%と最も高く、次いで「障がい者支援」(38.5%)、「子育て支援・母子福祉」(33.9%)となっています。旧越智郡陸地部では、「高齢者支援」が57.1%と最も大きく、次いで「子育て支援・母子福祉」(40.5%)、「障がい者支援」(31.0%)となっています。旧越智郡島しょ部では、「高齢者支援」が59.1%と最も高く、次いで「障がい者支援」(45.5%)、「子育て支援・母子福祉」(38.6%)となっています。

旧越智郡島しょ部の「青少年育成」の割合が他と比べて約13.3ポイント以上高く、同じく「低所得者への支援」の割合が他と比べて13ポイント以上高くなっています。



【団体区分】

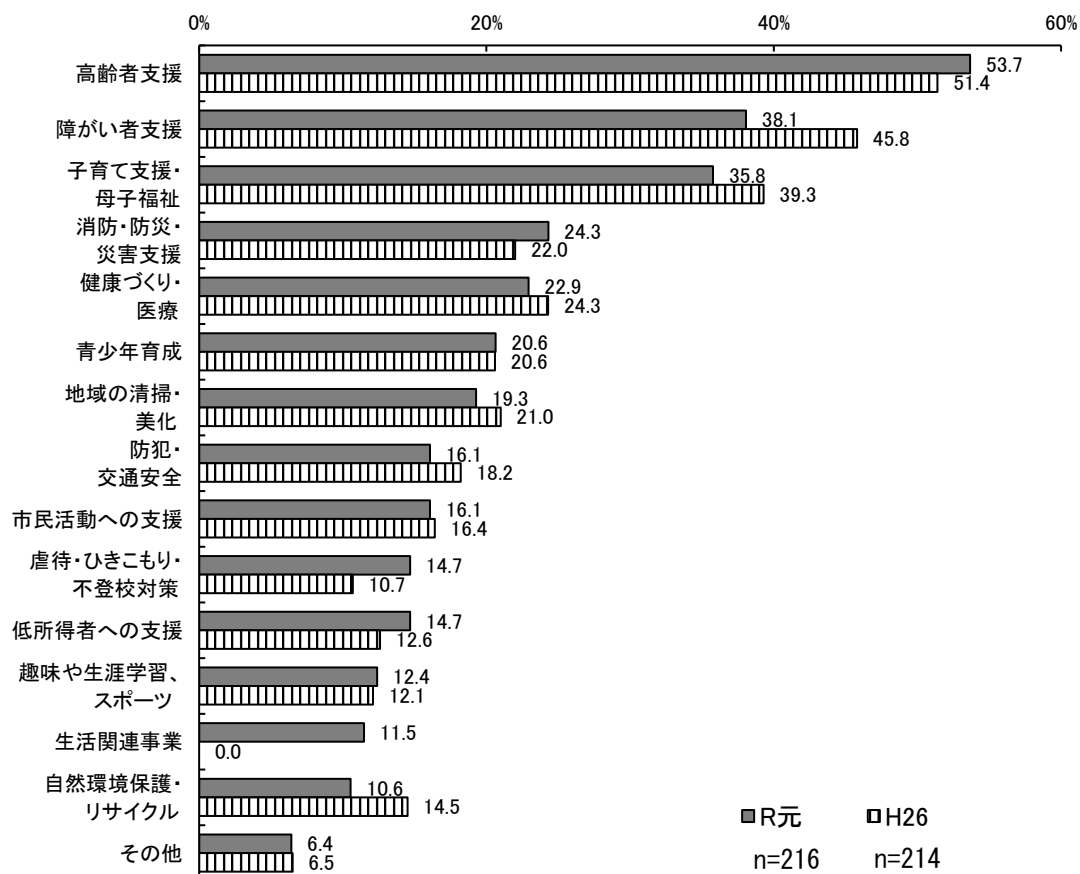
団体別にみると、「自治会等地域団体」では「消防・防犯・災害支援」、「地域の清掃・美化」、「防犯・交通安全」、「市民活動への支援」、「趣味や生涯学習・スポーツ」、「自然環境保護・リサイクル」で最も割合が高く、特に「地域の清掃・美化」、「防犯・交通安全」、「自然環境保護・リサイクル」で他の区分と比べると特に高くなっています。「民生委員・児童委員」では「高齢者支援」、「障がい者支援」、「子育て支援・母子福祉」、「青少年育成」、「虐待・ひきこもり・不登校対策」、「低所得者への支援」の割合が最も高く、特に「子育て支援・母子福祉」、「虐待・ひきこもり・不登校対策」で他と比べると特に高くなっています。「医療機関」では「健康づくり・医療」が他の区分と比べると特に高く、「生活関連サービス提供者」では「生活関連事業」と回答した割合が他と比べて特に高くなっています。



【経年変化】

過去の調査と比べると、「高齢者支援」の割合が最も高くなっており、次いで「障がい者支援」、「子育て支援・母子福祉」の上位回答順位に変わりはありませんでした。

「高齢者支援」と「消防・防災・災害支援」は前回調査より 2.3 ポイント増加しており、最も増加が大きくなっています。「障がい者支援」は前回調査よりも 7.7 ポイント減少しており、最も減少が大きくなっています。



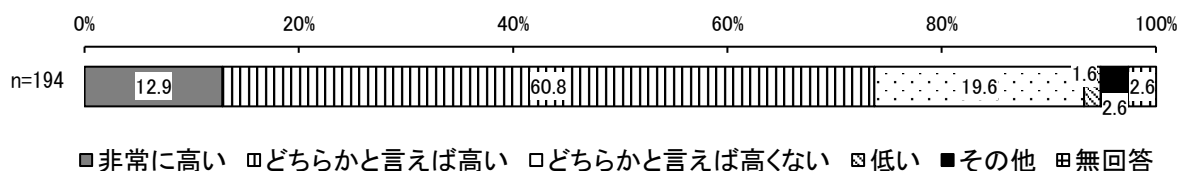
※「生活関連事業」は R 元年度調査より新設。

問 2-1 貴団体が現在提供している支援・サービスの質について、どのように評価しますか。

問 2 で 1 ～ 1 3 に ○ を記入した団体にお伺いします。

		(件)
1	非常に高い	25
2	どちらかと言えば高い	118
3	どちらかと言えば高くない	38
4	低い	3
5	その他	5
	無回答	5

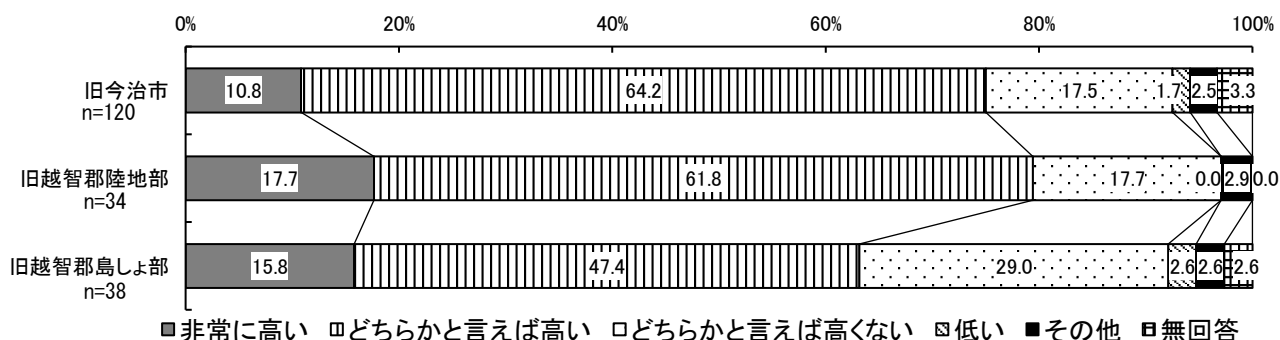
団体が現在提供している支援・サービスの質について聞いたところ、「高い」73.7%（「非常に高い」12.9%、「どちらかと言えば高い」60.8%（以下同じ））、「低い」21.2%（「どちらかと言えば高くない」19.6%、「低い」1.6%（以下同じ））、その他 2.6%となっています。



【地区】

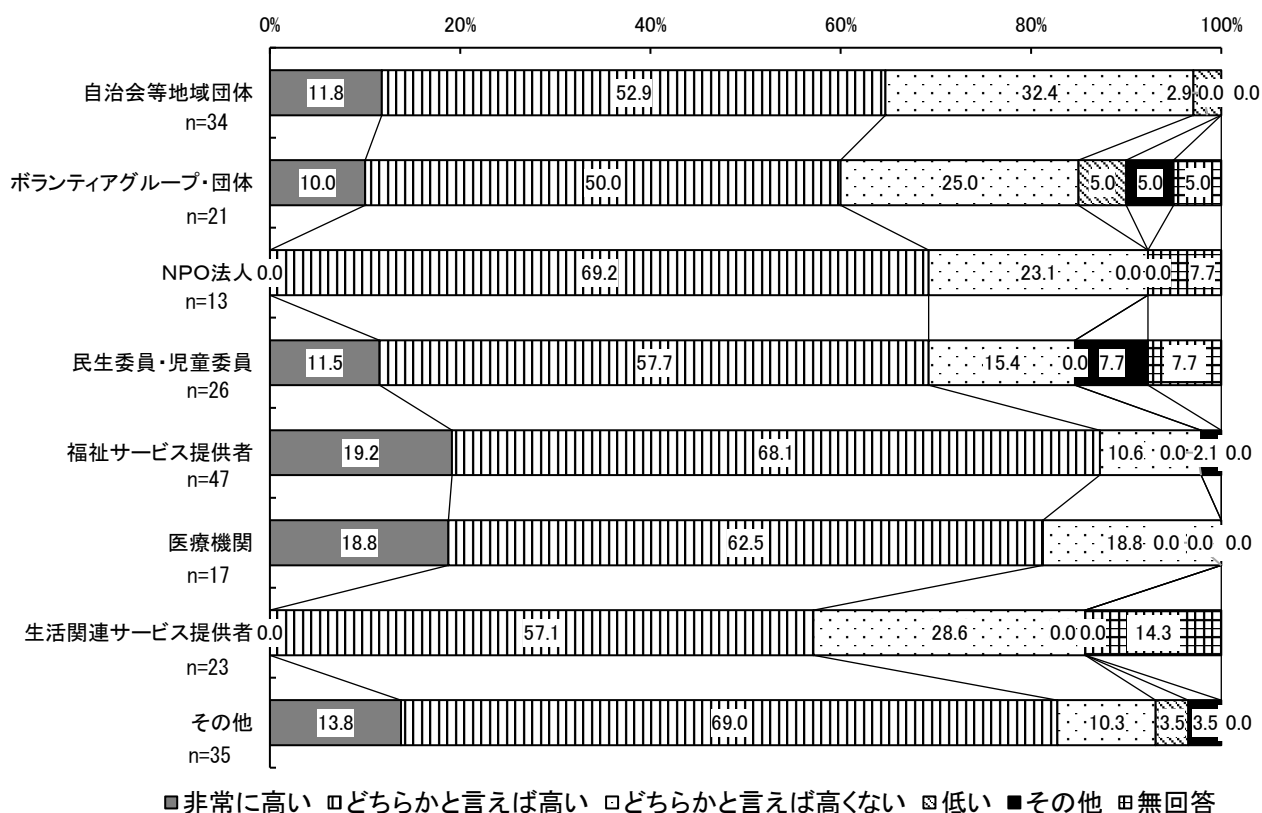
地区別にみると、旧今治市では、「高い」75.0%、「低い」19.2%となっており、「高い」が 55.8 ポイント多くなっています。旧越智郡陸地部では、「高い」79.5%、「低い」17.7%となっており、「高い」が 61.8 ポイント多くなっています。旧越智郡島しょ部では、「高い」63.2%、「低い」31.6%となっており、「高い」が 31.6 ポイント多くなっています。

旧越智郡陸地部の「高い」（79.5%）が他の地区と比べて最も高く、旧今治市よりも 4.5 ポイント高くなっています。



【団体区分】

団体別にみると、全ての団体で「高い」の割合が50%を超えています。その中で「福祉サービス提供者」の「高い」（87.3%）の割合が最も多く、「非常に高い」（19.2%）の割合も最も多くなっています。



問 2-2 サービスの質を確保・向上するために必要な取組をお聞かせください。

- 人材・財源確保に関する事 (41 件)
- 研修に関する事 (46 件)
- 職員の取組に関する事 (23 件)
- 見守りに関する事 (3 件)
- 連携に関する事 (35 件)
- ニーズへの対応 (19 件)
- 防災に関する事 (1 件)
- その他 (16 件)

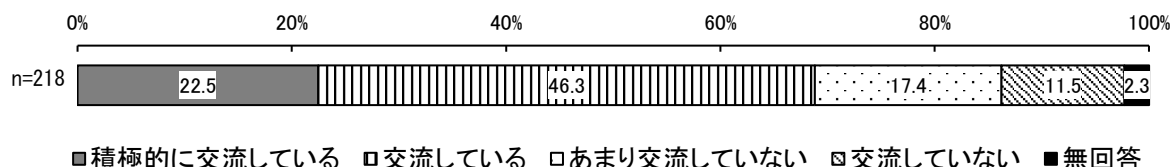
※資料編参照

地域での福祉活動を推進させるための取組について

問3 地域住民が参加できるイベントを開催するなど、地域住民との交流を図っていますか。

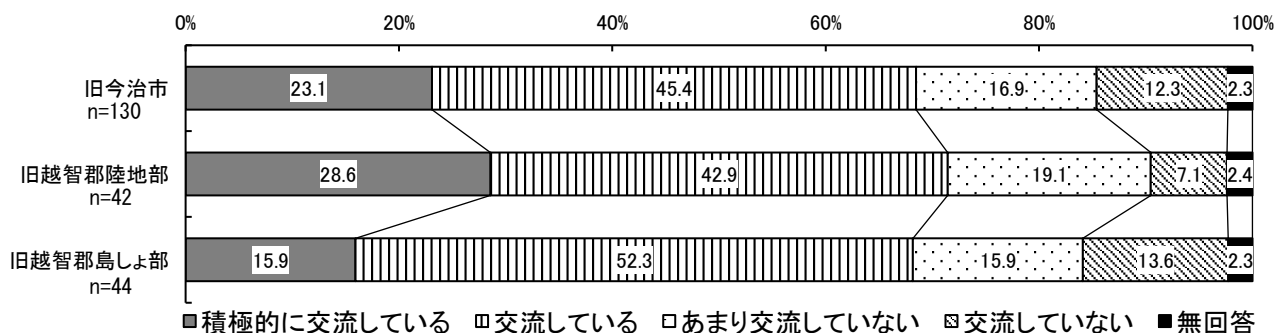
		(件)
1	積極的に交流している	49
2	交流している	101
3	あまり交流していない	38
4	交流していない	25
	無回答	5

地域住民との交流について聞くと、「地域住民と交流している」68.8%（「積極的に交流している」22.5%、「交流している」46.3%（以下同じ））、「地域住民と交流していない」28.9%（「あまり交流していない」17.4%、「交流していない」11.5%）となっています。



【地区】

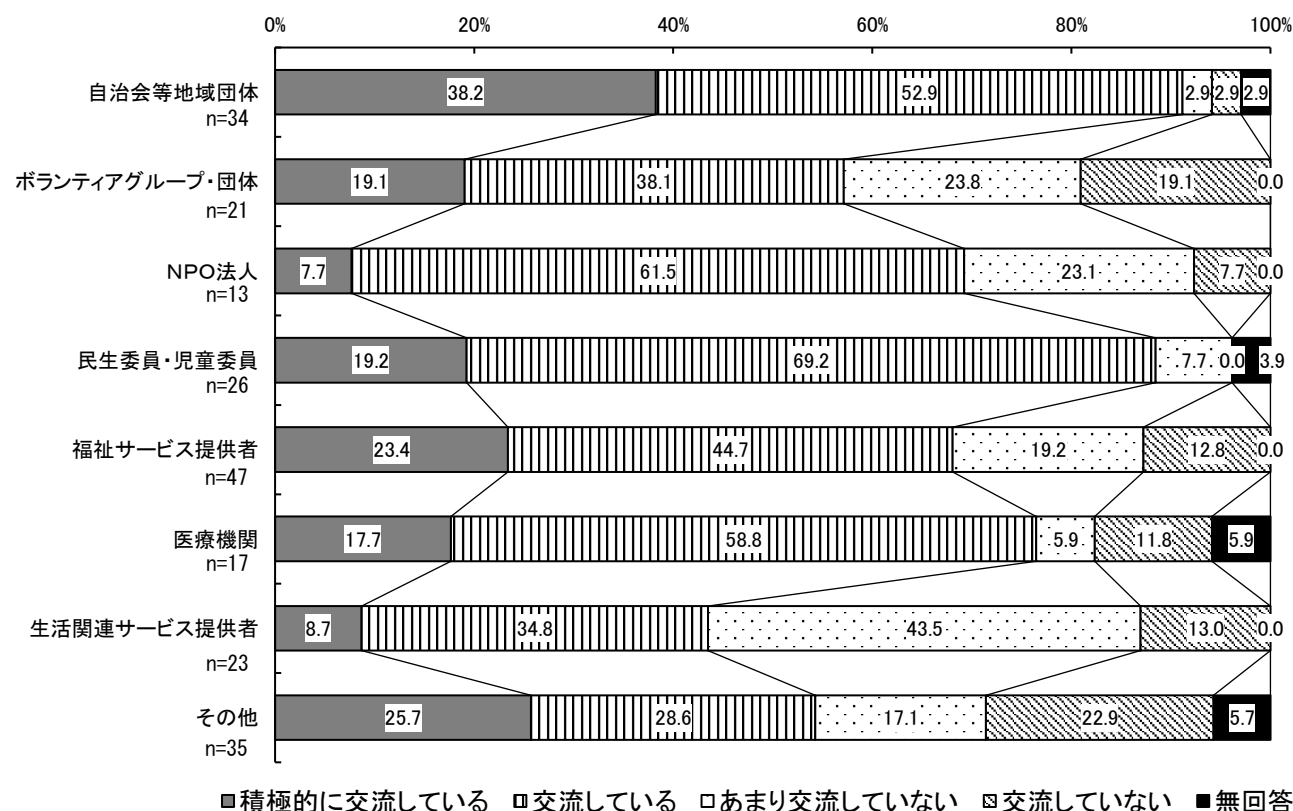
地域別にみると、全ての地域で「地域住民と交流している」の割合が65%以上を占めています。旧越智郡陸地部が最も高く、71.5%になっており、「積極的に交流している」も高く、旧今治市より5.5ポイント高くなっています。



【団体区分】

団体別にみると、「生活関連サービス提供者」を除いて、すべての団体で「地域住民と交流している」の割合が50%を超えています。中でも「自治会等地域団体」が91.1%（「積極的に交流している」38.2、「交流している」52.9%）と最も高く、次に高い「民生委員・児童委員」（88.4%）よりも2.7ポイント高くなっています。

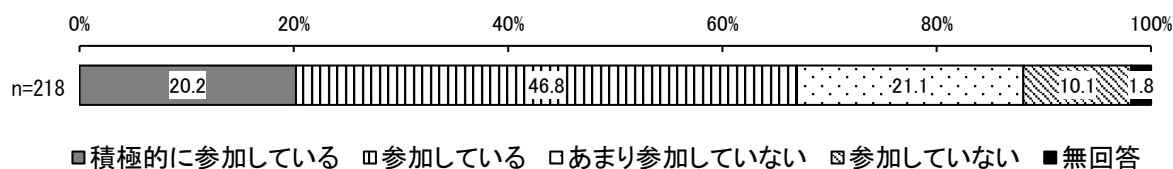
「自治会等地域団体」の「積極的に交流している」（38.2%）の割合は他の団体と比較しても特に高く、次に高い「福祉サービス提供者」（23.4%）よりも14.8ポイント高くなっています。



問4 団体（事業所）として地域住民の行事や集まりに参加していますか。

		(件)
1	積極的に参加している	44
2	参加している	102
3	あまり参加していない	46
4	参加していない	22
	無回答	4

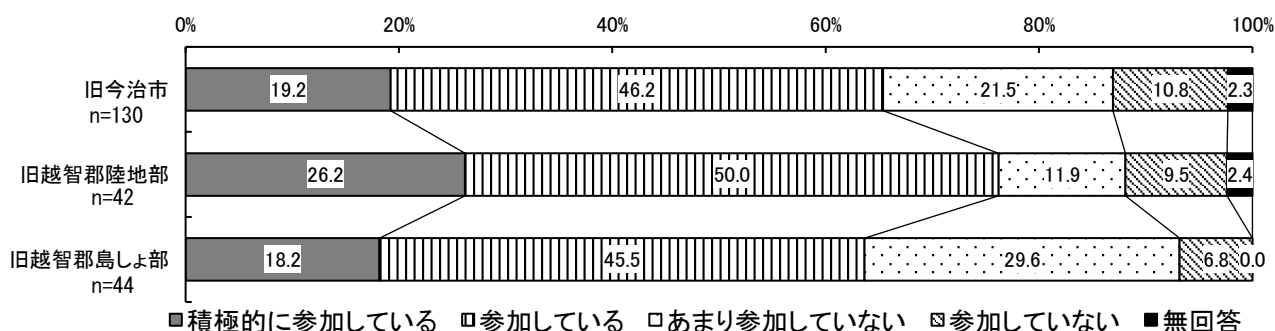
地域住民の行事や集まりへの参加についてみると、「地域住民の行事や集まりに参加している」67.0%（「積極的に参加している」20.2%+「参加している」46.8%（以下同じ））、「地域住民の行事や集まりに参加していない」31.2%（「あまり参加していない」21.1%+「参加していない」10.1%（以下同じ））となっており、「地域住民の行事や集まりに参加している」が「地域住民の行事や集まりに参加していない」より35.8ポイント高くなっています。



【地区】

地区別にみると、すべての地区で「地域住民の行事や集まりに参加している」の割合が60%を超えています。旧越智郡陸地部が76.2%と最も高く、旧今治市より10.8ポイント高くなっています。

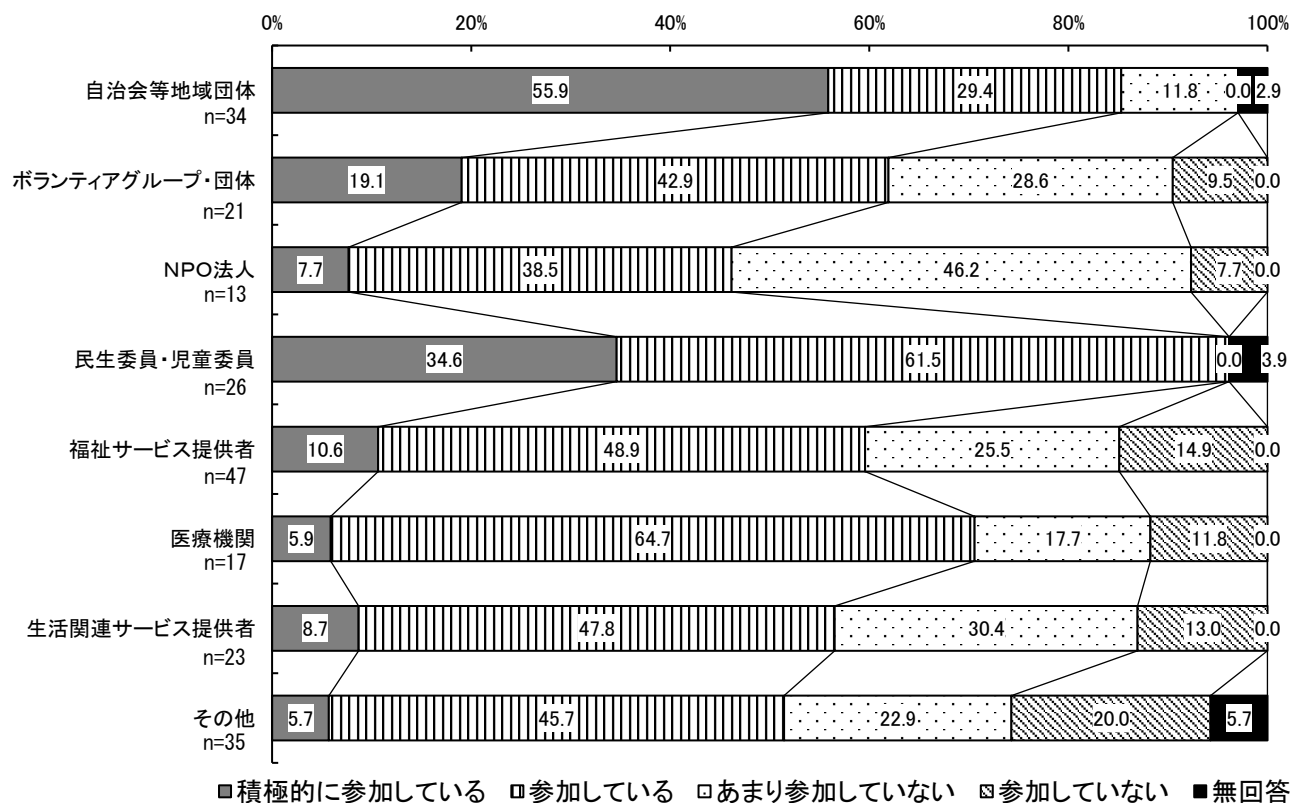
「積極的に参加している」だけをみても、旧越智郡陸地部が26.2%と最も多く、旧今治市よりも7ポイント高くなっています。



【団体区分】

団体別にみると、「NPO法人」を除いて、全ての団体が「地域住民の行事や集まりに参加している」の割合が半分以上を占めています。特に「民生委員・児童委員」では「地域住民の行事や集まりに参加している」の割合が96.1%（「積極的に参加している」34.6%+「参加している」61.5%）と、他と比べて最も高くなっています。

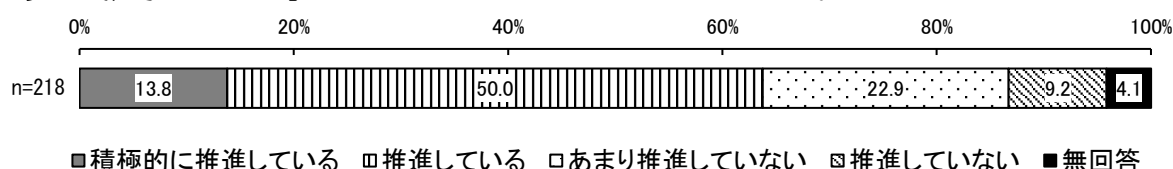
また、「自治会等地域団体」では「積極的に参加している」が55.9%と他の団体と比較して最も高くなっており、次に高い「民生委員・児童委員」よりも21.3ポイント高くなっています。



問5 団体（事業所）として職員に対して地域活動（ボランティア活動）への参加を奨励していますか。

			(件)
1	積極的に推進している		30
2	推進している		109
3	あまり推進していない		50
4	推進していない		20
	無回答		9

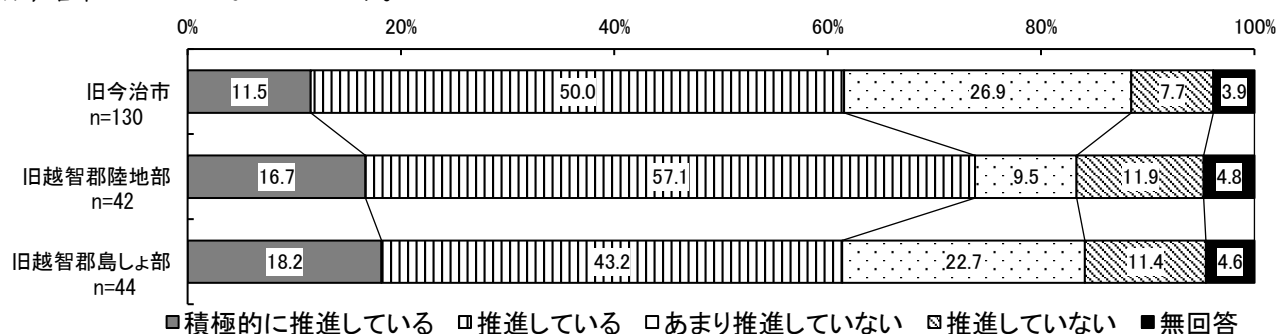
職員に対して地域活動（ボランティア活動）への参加の奨励について聞くと、「参加を推進している」63.8%（「積極的に推進している」13.8%+「推進している」50.0%（以下同じ））、「参加を推進していない」32.1%（「あまり推進していない」22.9%+「推進していない」9.2%（以下同じ））となっており、「参加を推進している」が「参加を推進していない」よりも31.7ポイント大きくなっています。



【地区】

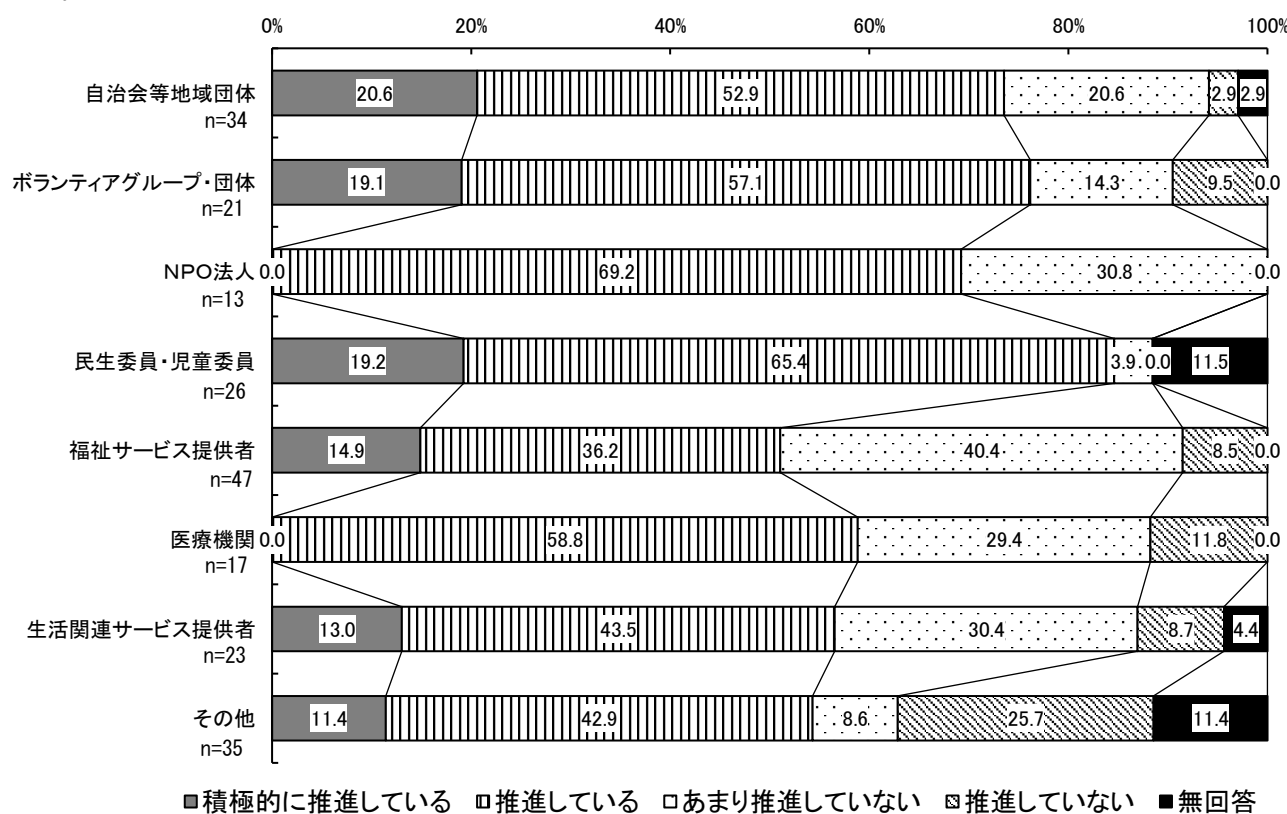
地区別にみると、全地区で「参加を推進している」の割合が60%を超えています。旧越智郡陸地部 73.8%と最も大きく、次に大きい旧今治市よりも12.3%大きくなっています。

「積極的に推進している」では旧越智郡島しょ部が18.2%と最も大きく、次いで旧越智郡陸地部16.7%、旧今治市11.5%となっています。



【団体区分】

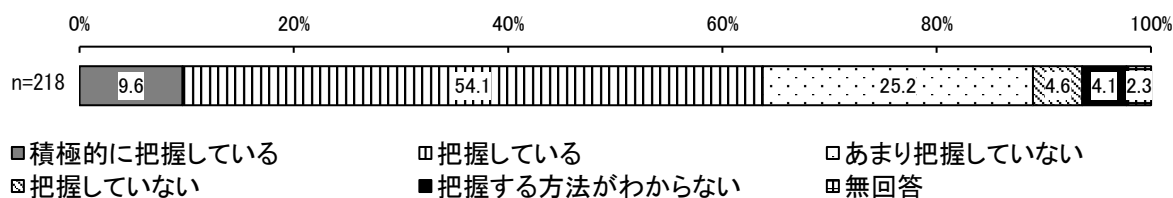
団体別にみると、全ての団体で「参加を推進している」の割合が50%を超えています。特に「民生委員・児童委員」では「参加を推進している」の割合が84.6%（「積極的に推進している」19.2%+「推進している」65.4%）と最も高く、次に高い「ボランティアグループ・団体」（76.2%）よりも8.4ポイント高くなっています。



問6 地域の抱えている課題や住民のニーズを把握していますか。

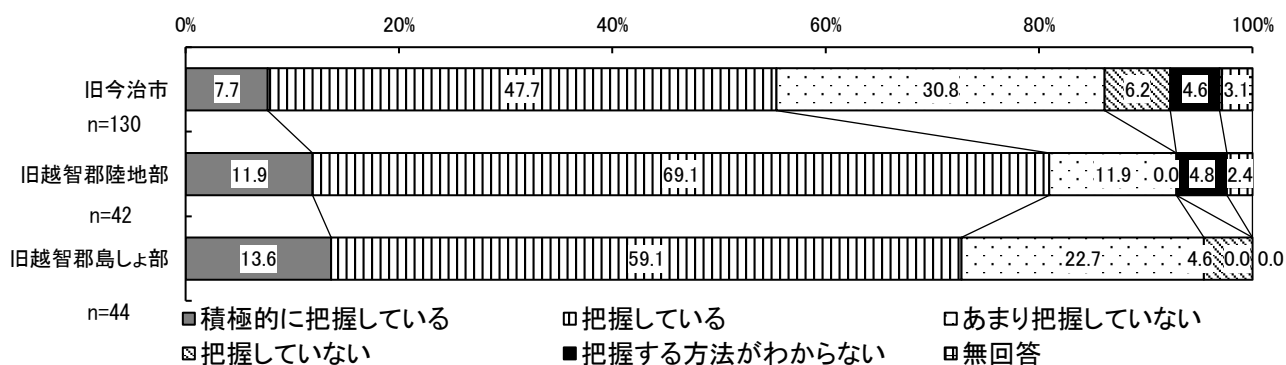
		(件)
1	積極的に把握している	21
2	把握している	118
3	あまり把握していない	55
4	把握していない	10
5	把握する方法がわからない	9
	無回答	5

地域の抱えている課題や住民のニーズの把握について聞いてみると、「課題やニーズを把握している」63.7%（「積極的に把握している」9.6%+「把握している」54.1%（以下同じ））、「課題やニーズを把握していない」29.8%（「あまり把握していない」25.2%+「把握していない」4.6%（以下同じ））、「把握する方法がわからない」が4.1%となっています。「課題やニーズを把握している」が「課題やニーズを把握していない」よりも33.9ポイント高くなっています。



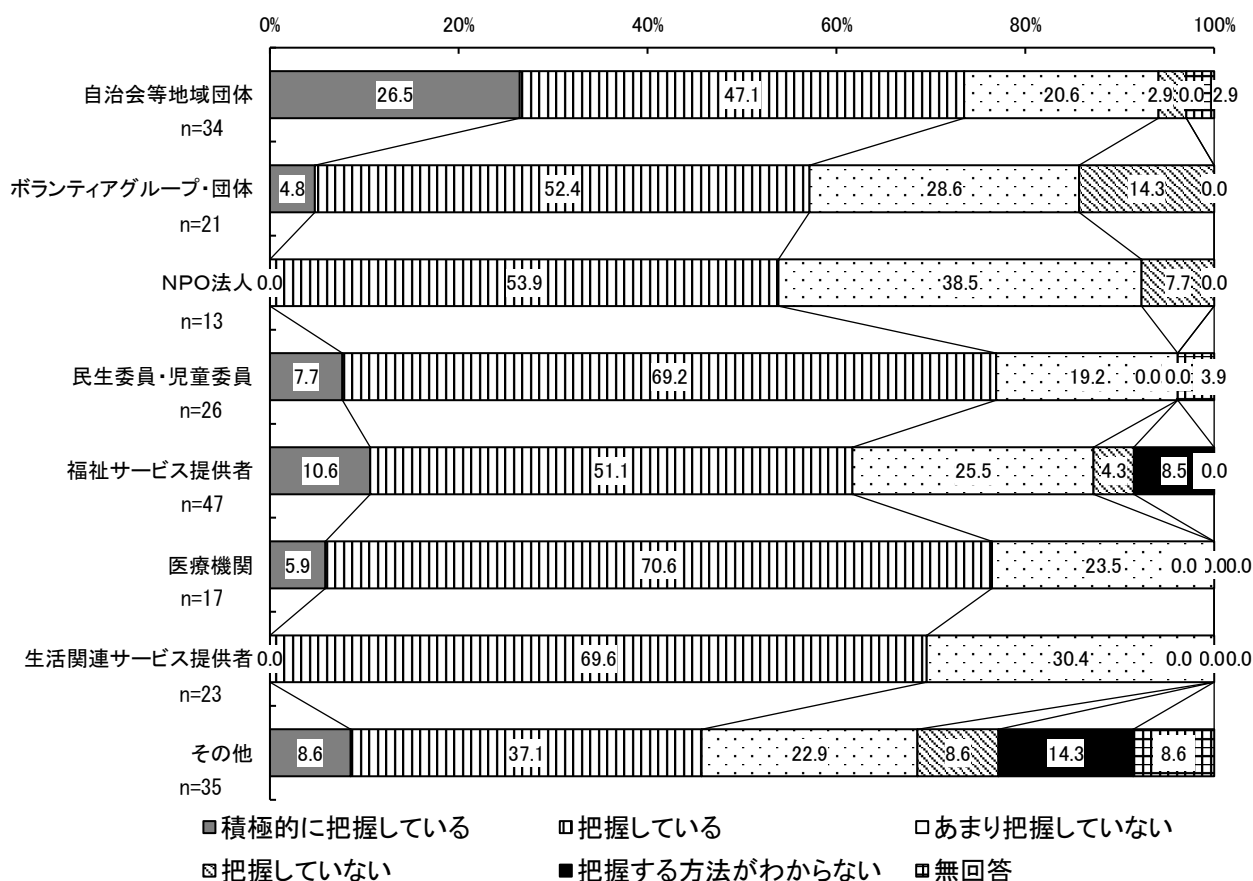
【地区】

地区別にみると、全ての地区で「課題やニーズを把握している」の割合が55%を超えています。旧越智郡陸地部が81.0%と最も高く、次に高い旧越智郡島しょ部より8.3ポイント高く、旧今治市よりも25.6ポイント高くなっています。



【団体区分】

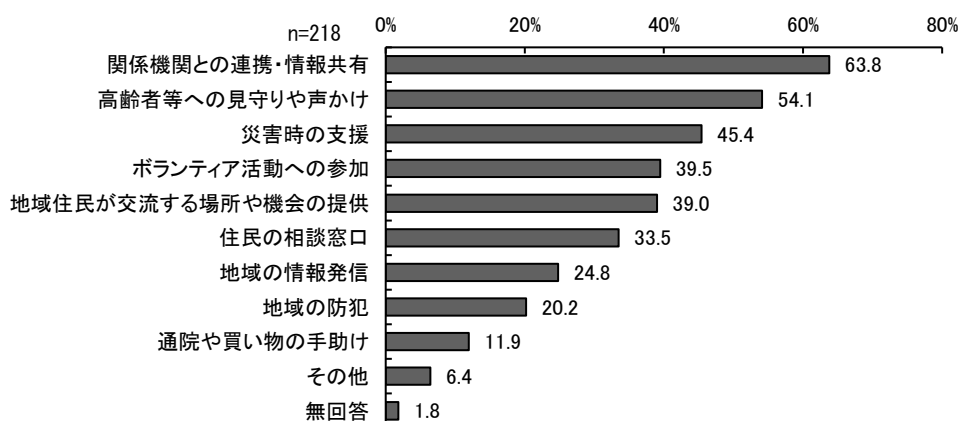
団体別にみると、全ての団体で「課題やニーズを把握している」の割合は50%を超えています。「自治会等
地域団体」(73.6%)、「民生委員・児童委員」(76.9%)、「医療機関」(76.5%)は高い割合となっています。



問7 貴団体は地域福祉においてどのような役割を担うことができますか。

〈複数回答〉(件)		
1	地域住民が交流する場所や機会の提供	85
2	高齢者等への見守りや声かけ	118
3	地域の防犯	44
4	住民の相談窓口	73
5	災害時の支援	99
6	通院や買い物の手助け	26
7	ボランティア活動への参加	86
8	地域の情報発信	54
9	関係機関との連携・情報共有	139
10	その他	14
	無回答	4

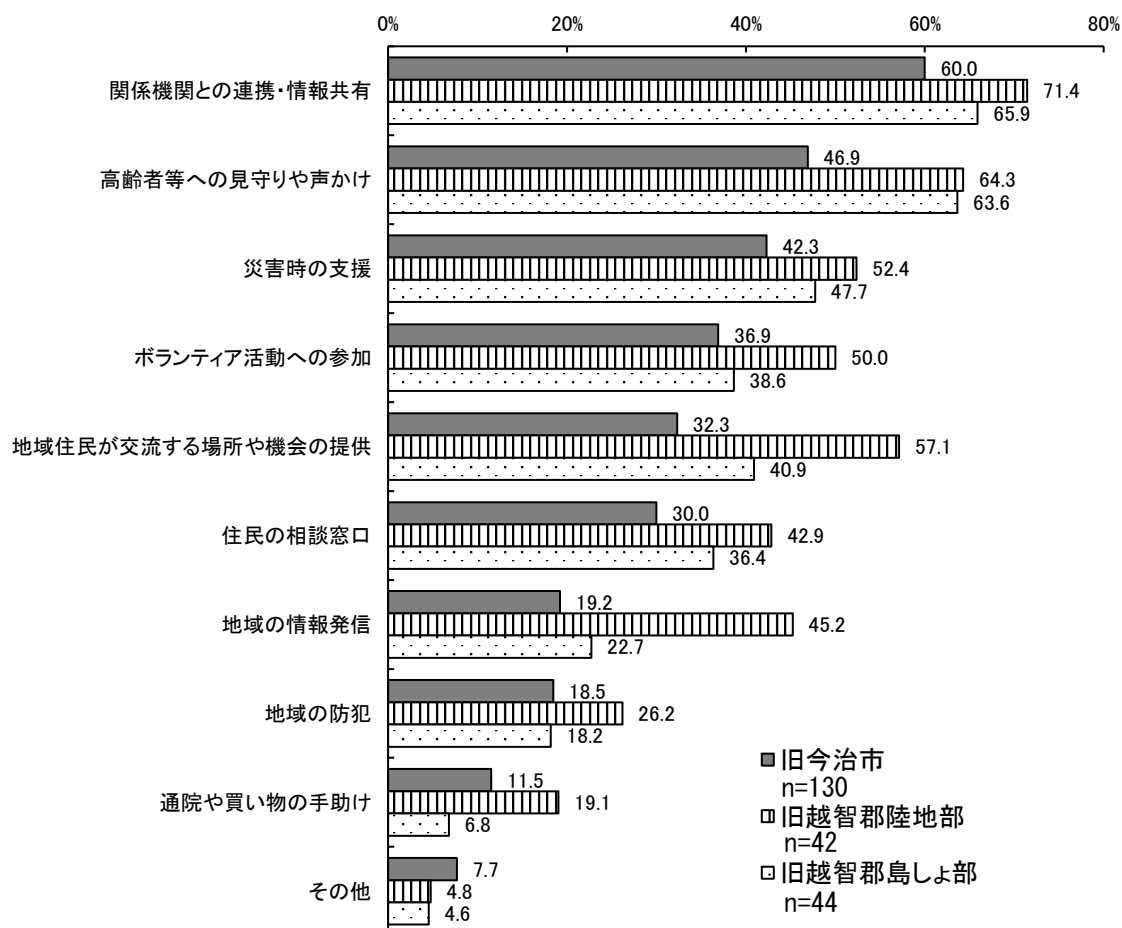
地域福祉における役割についてみると、「地域住民が交流する場所や機会の提供」の割合が63.8%と最も大きく、次いで「高齢者等への見守りや声かけ」(54.1%)、「地域の防犯」(45.4%)となっています。



【地区】

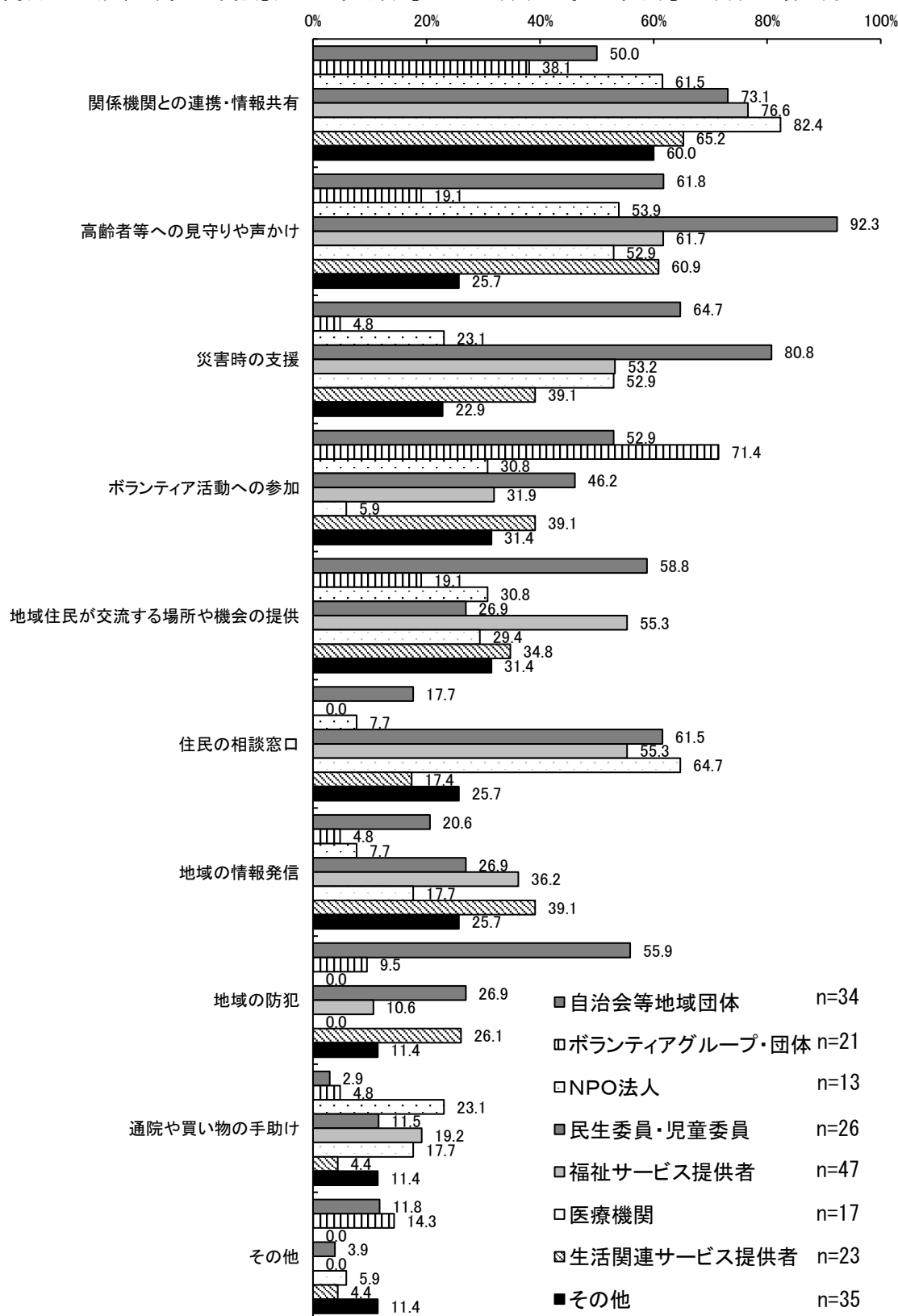
地区別にみると、全ての地区で「関係機関との連携・情報共有」の割合が最も高く、次いで「高齢者等への見守りや声かけ」、「災害時の支援」が高くなっています。

その他、旧越智郡陸地部の「地域住民が交流する場所や機会の提供」(57.1%)と「地域の情報発信」(45.2%)の割合が他の地区と比較して高くなっています。



【団体区分】

団体別にみると、「関係機関との連携・情報共有」、「住民の相談窓口」では「医療機関」の割合が最も高くなっています。「高齢者等への見守りや声かけ」、「災害時への支援」では「民生委員・児童委員」が最も高くなっています。「ボランティア活動への参加」では「ボランティアグループ・団体」が最も高く、「地域住民が交流する場所や機会の提供」、「地域の防犯」では「自治会等地域団体」の割合が最も高くなっています。



問8 他の団体や公共団体などとの交流や協力についておたずねします。

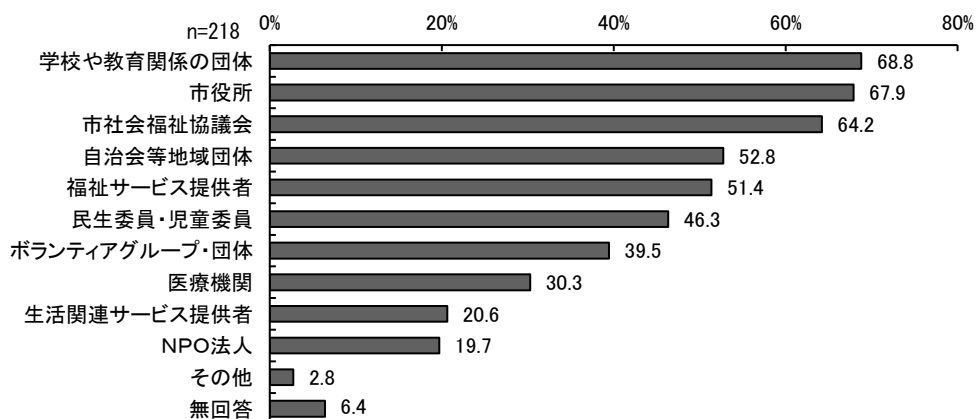
- ① 他の団体や公共団体との相互の交流、協力関係の実情を教えてください。また、今後交流や協力したいと思う他の団体や公共団体はありますか。

〈複数回答〉(件)

	団体などの種類	現在交流、協力している	今後交流、協力したい
1	自治会等地域団体(老人クラブ、子ども会など)	115	47
2	ボランティアグループ・団体	86	47
3	NPO法人	43	41
4	民生委員・児童委員	101	33
5	福祉サービス提供者	112	30
6	医療機関	66	40
7	生活関連サービス提供者(郵便・金融・生活用品小売業など)	45	38
8	市社会福祉協議会	140	33
9	学校や教育関係の団体	150	26
10	市役所	148	19
11	その他	6	4
	無回答	14	103

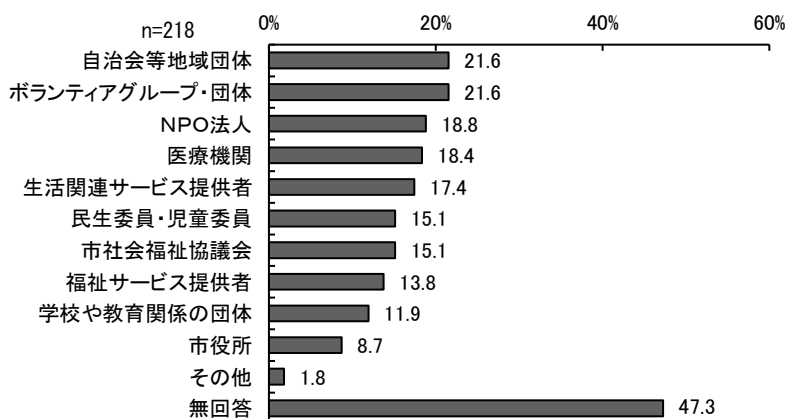
【現在】

他の団体や公共団体などとの交流や協力の現在の状況についてみると、「学校や教育関係の団体」の割合が68.8%と最も高く、次いで、「市役所」(67.9%)、「市社会福祉協議会」(64.2%)となっています。



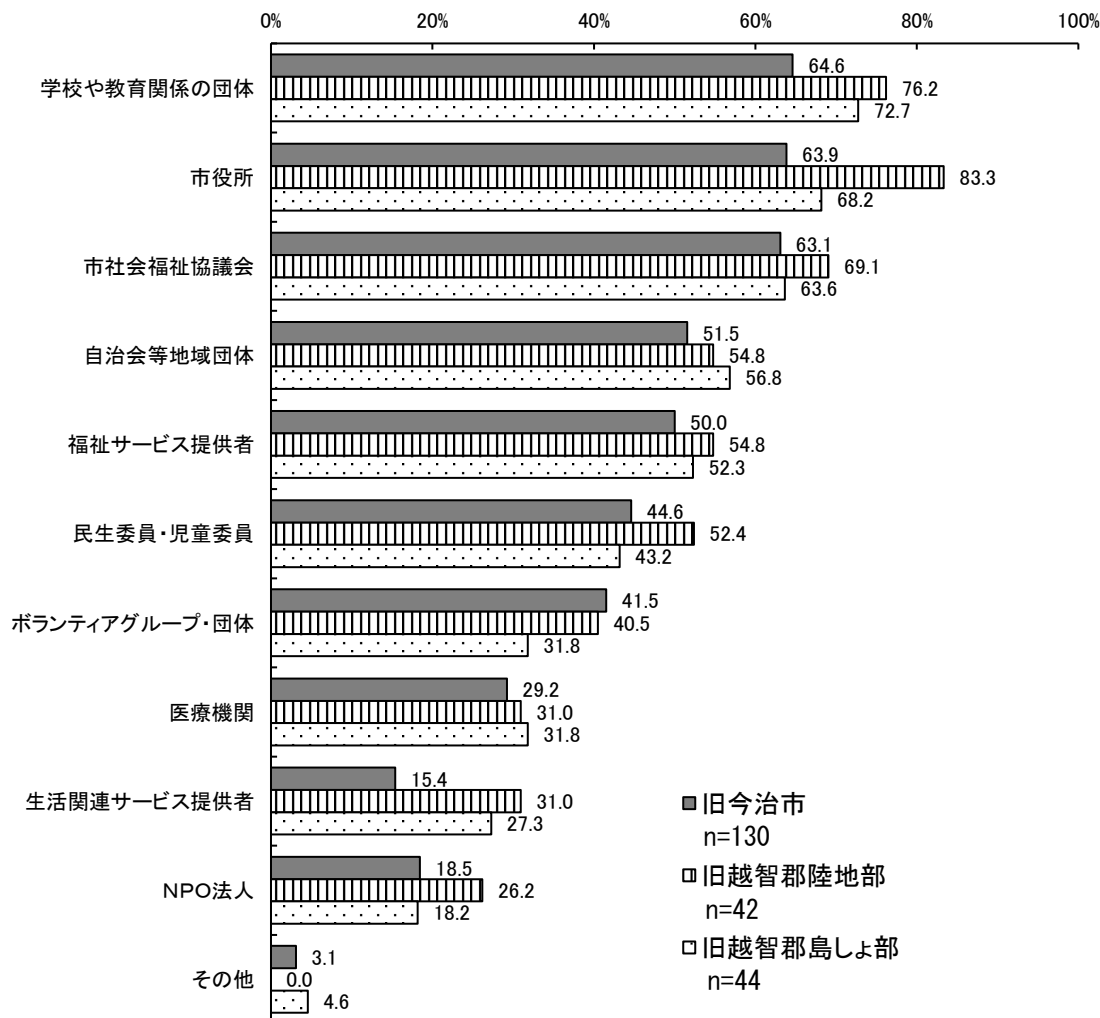
【今後】

今後交流や協力したいと思う他の団体や公共団体をみると、「自治会等地域団体」と「ボランティアグループ・団体」の割合が同じ21.6%と最も高く、次いで「NPO法人」(18.8%)、「医療関係」(18.4%)となっています。



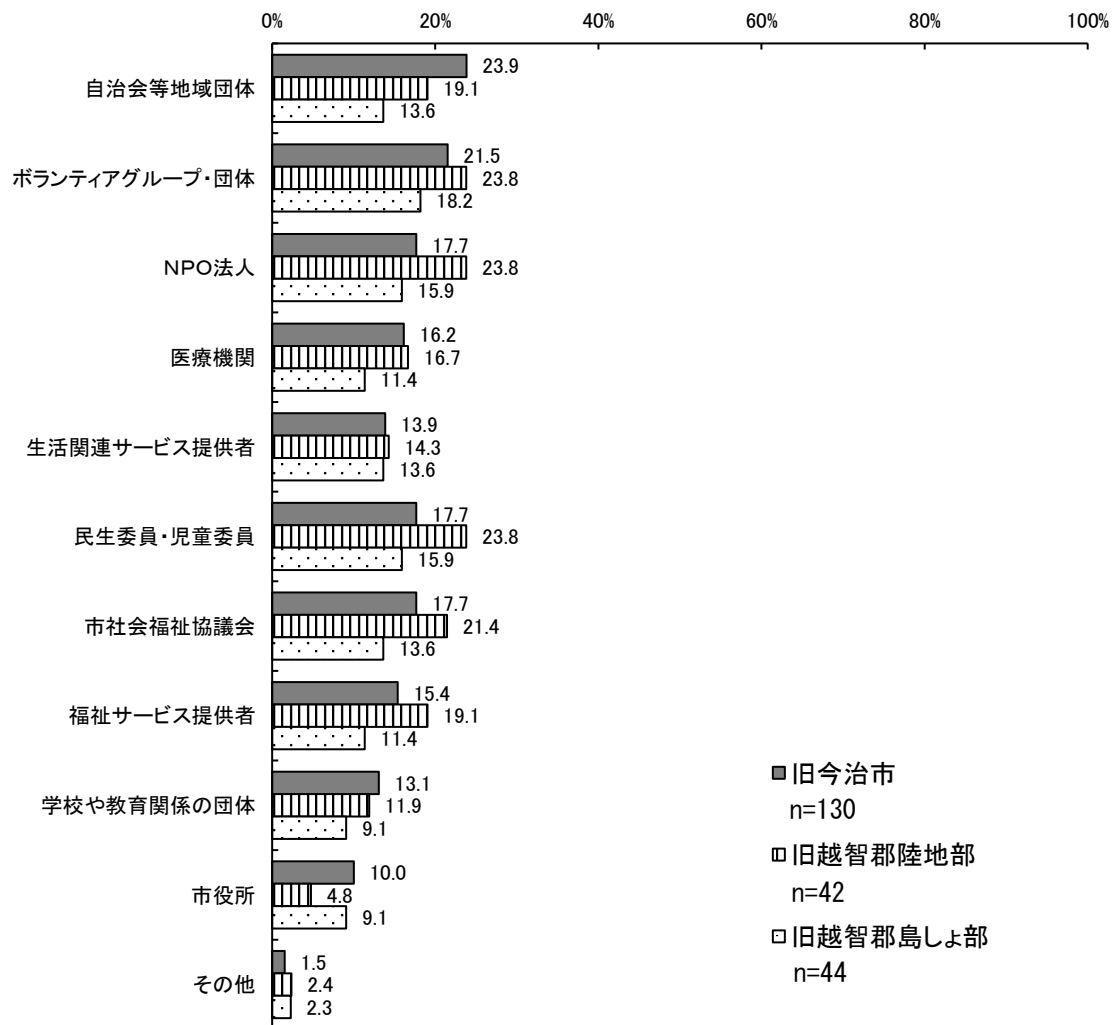
【地区-現在】

現在の状況について地区別にみると、旧今治市では「学校や教育関係の団体」の割合が64.6%と最も高く、次いで「市役所」(63.9%)、「市社会福祉協議会」(63.1%)となっています。旧越智郡陸地部では「市役所」が83.3%と最も高く、次いで「学校や教育関係の団体」(76.2%)「市社会福祉協議会」(69.1%)となっています。旧越智郡島しょ部では、「学校や教育関係の団体」が72.7%と最も高く、次いで「市役所」(68.3%)、「市社会福祉協議会」(63.6%)となっています。



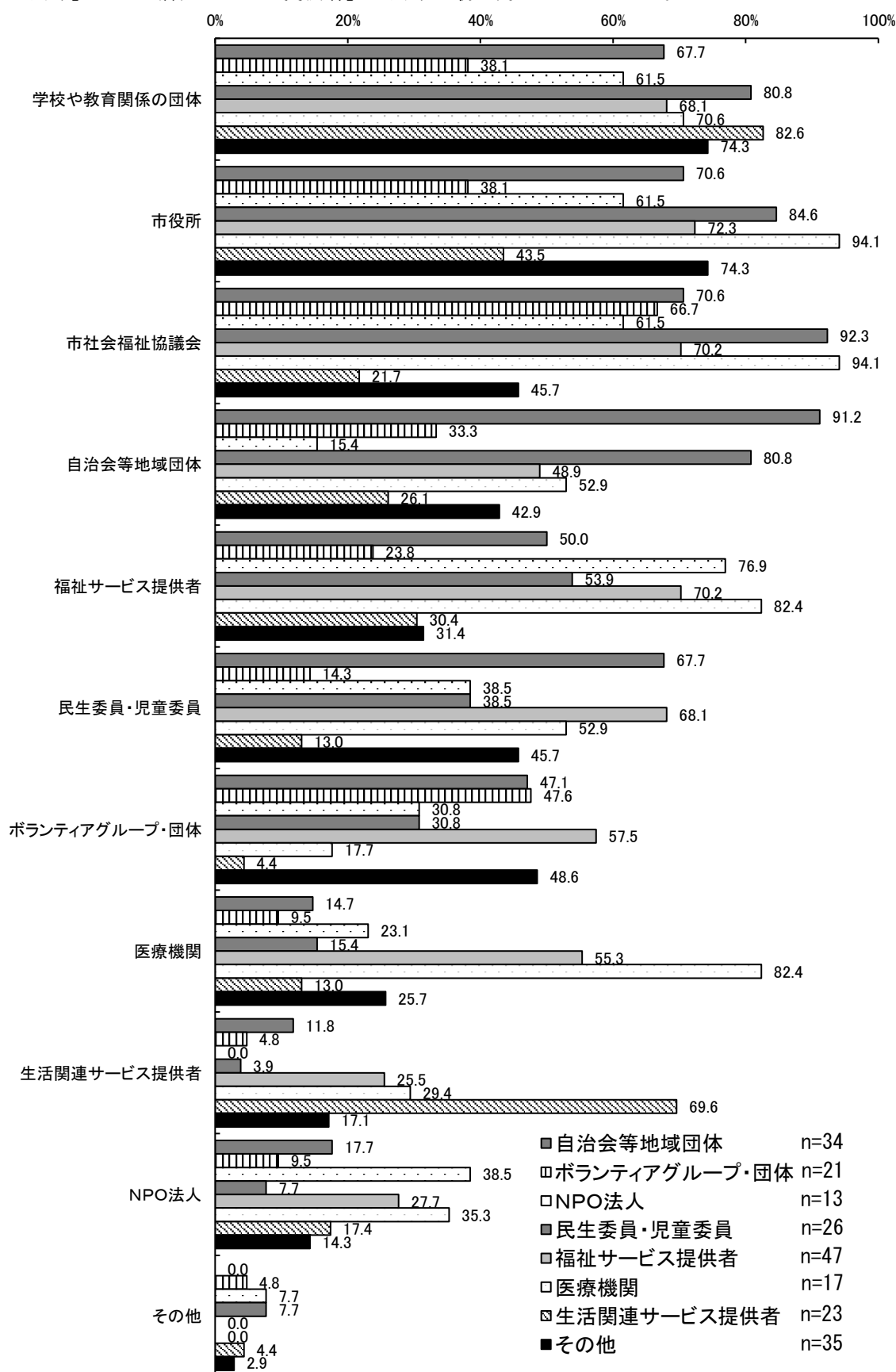
【地区-今後】

今後について地区別にみると、旧今治市では「自治会等地域団体」の割合が23.9%と最も高く、次いで「ボランティアグループ・団体」(21.5%)、「NPO法人」「民生委員・児童委員」「市社会福祉協議会」(それぞれ17.7%)となっています。旧越智郡陸地部では「ボランティアグループ」「NPO法人」「民生委員・児童委員」が最も高く、それぞれ23.8%となっています。旧越智郡島しょ部では「ボランティアグループ・団体」が18.2%と最も高く、次いで「NPO法人」「民生委員・児童委員」(それぞれ15.9%)となっています。



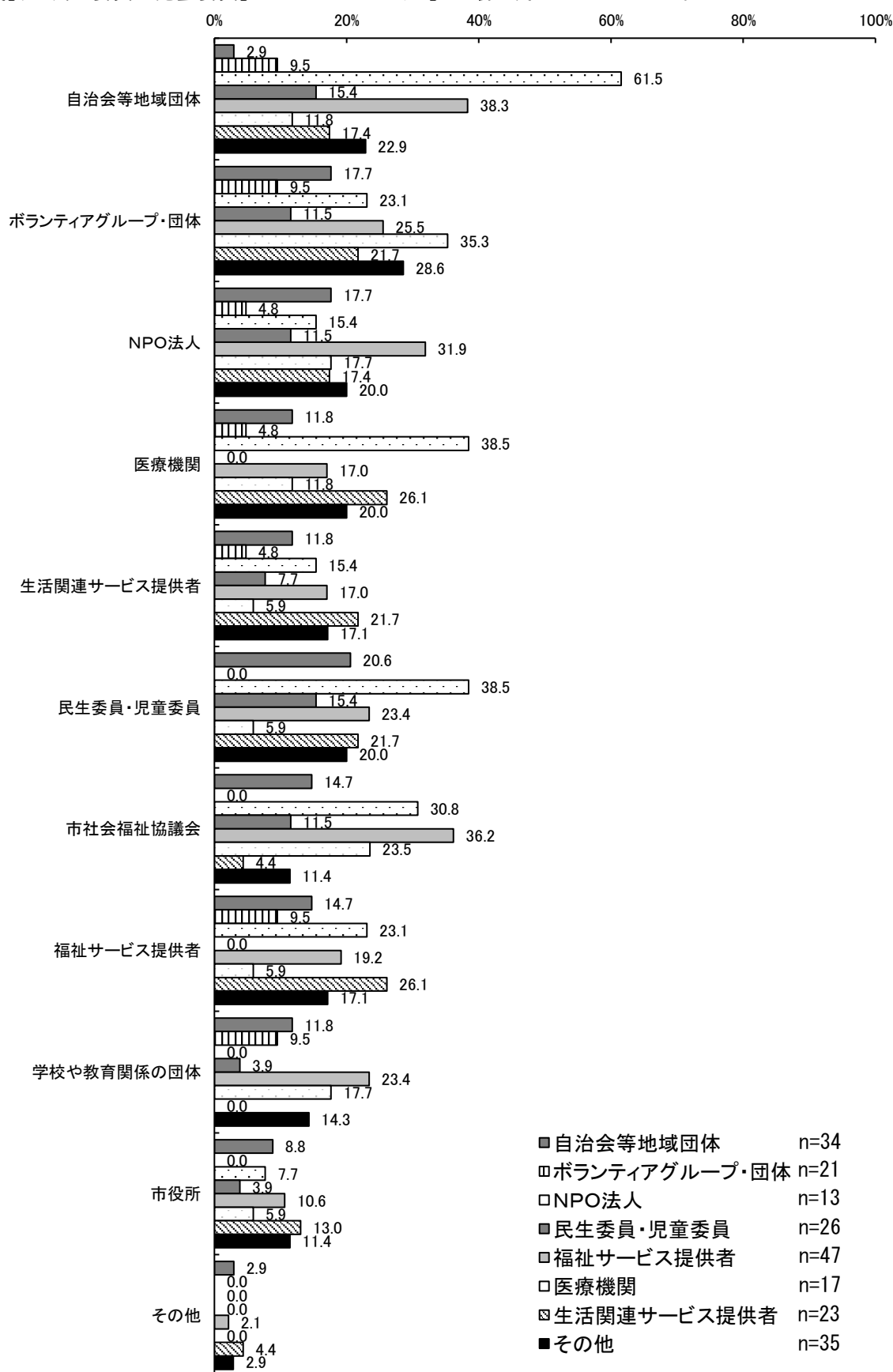
【団体区分-現在】

現在の状況を団体別でみると、「市役所」、「市社会福祉協議会」、「福祉サービス提供者」、「医療関係者」では「医療機関」の団体の割合が最も高くなっています。「学校や教育関係の団体」、「生活関連サービス提供者」では「生活関連サービス提供者」団体が最も高くなっています。「民生委員・児童委員」、「ボランティアグループ・団体」では「福祉サービス提供者」の団体が最も高くなっています。



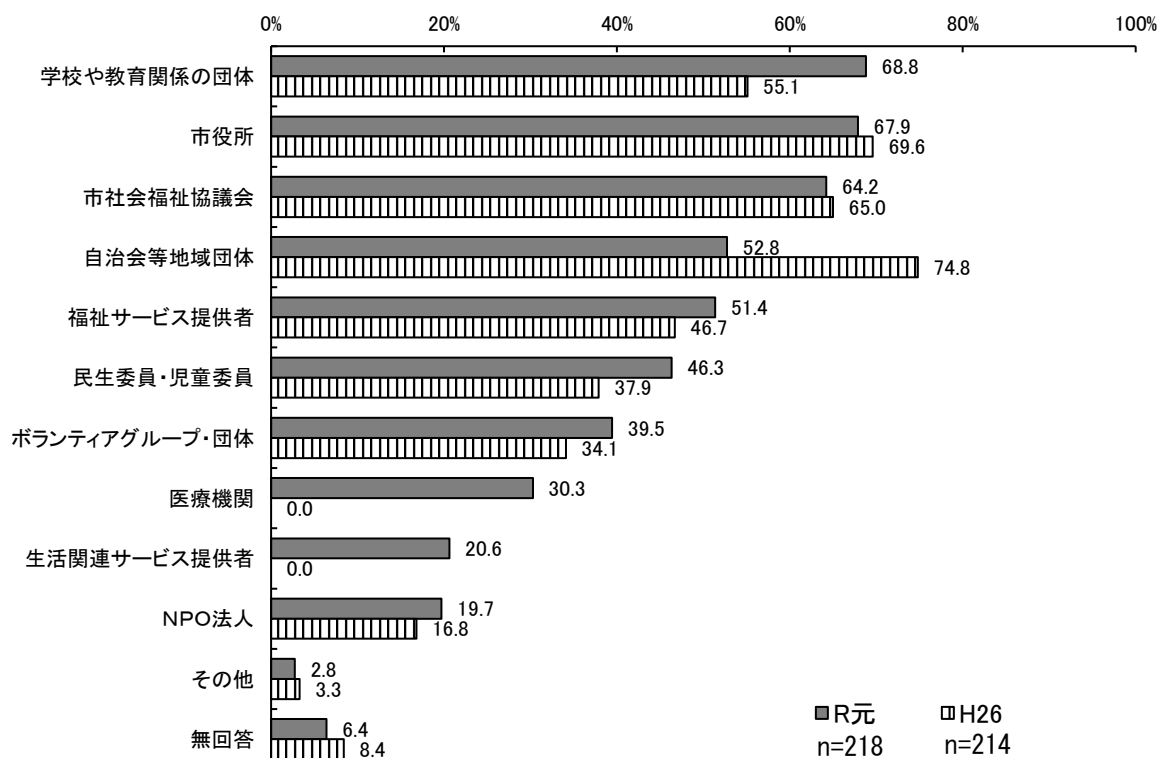
【団体区分-今後】

今後について団体別でみると、「自治会等地域団体」、「NPO法人」、「市社会福祉協議会」、「学校や教育関係の団体」では「福祉サービス提供者」団体の割合が最も高くなっています。「生活関連サービス提供者」、「福祉サービス提供者」、「市役所」では「生活関連サービス提供者」団体が最も高くなっています。「医療官益機関」、「民生委員・児童委員」では「NPO法人」が最も高くなっています。



【経年変化-現在】

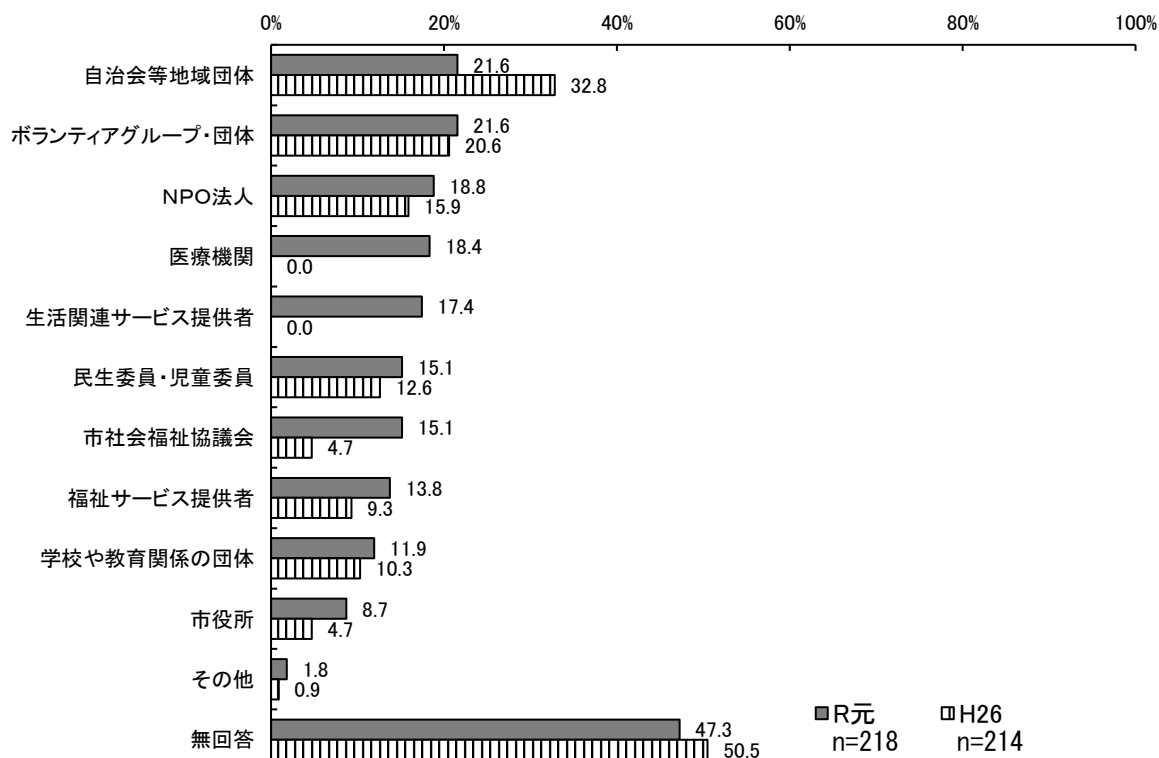
現在の状況を過去の調査と比べると、「学校や教育関係の団体」の割合が最も増加が大きく、前回調査よりも 13.7 ポイント増加しています。「自治会等地域団体」が最も減少が大きく、前回調査よりも 22 ポイント減少しています。



※「医療機関」と「生活関連サービス提供者」は R 元年度調査より新設。

【経年変化-今後】

今後について過去の調査と比べると、「市社会福祉協議会」の割合が最も増加し、前回調査よりも 10.4 ポイント増加しています。「自治会等地域団体」が最も減少し、11.2 ポイント減少しています。



※「医療機関」と「生活関連サービス提供者」は R 元年度調査より新設。

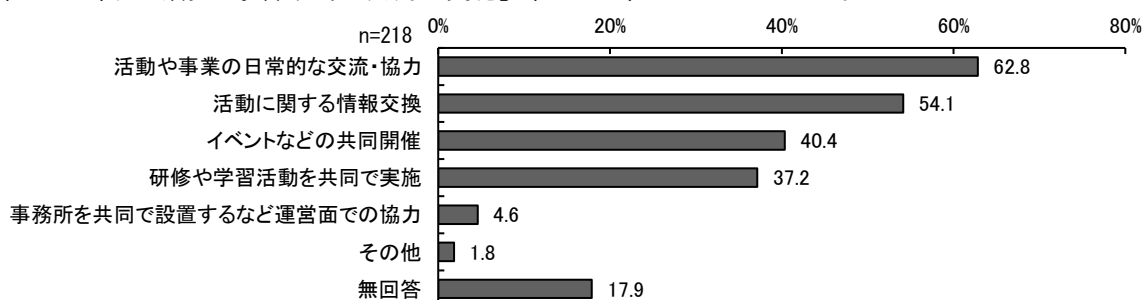
- ② 他の団体や公共団体と相互の交流や協力している内容を教えてください。また、今後交流や協力をしたいと思う内容がありますか。

〈複数回答〉(件)

	交流や協力などの内容	現在交流、協力している	今後交流、協力したい
1	活動や事業の日常的な交流・協力	137	30
2	イベントなどの共同開催	88	44
3	活動に関する情報交換	118	46
4	研修や学習活動を共同で実施	81	53
5	事務所を共同で設置するなど運営面での協力	10	34
6	その他	4	3
	無回答	39	114

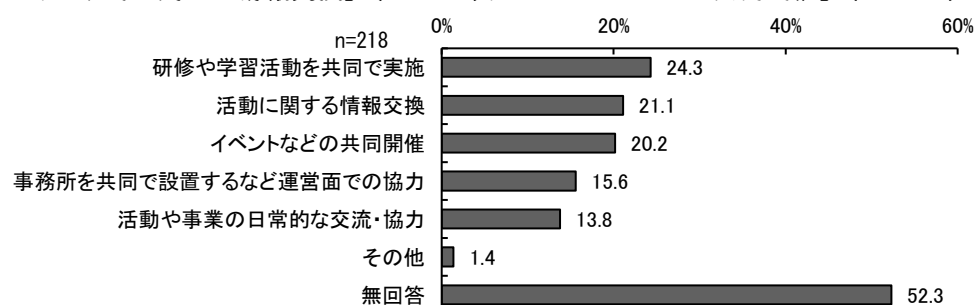
【現在】

他の団体や公共団体などとの交流や協力している現在の内容についてみると、「活動や事業の日常的な交流・協力」の割合が62.8%と最も多く、次いで、「活動に関する情報交換」(54.1%)、「イベントなどの共同開催」(40.4%)、「研修や学習活動を共同で実施」(37.2%)となっています。



【今後】

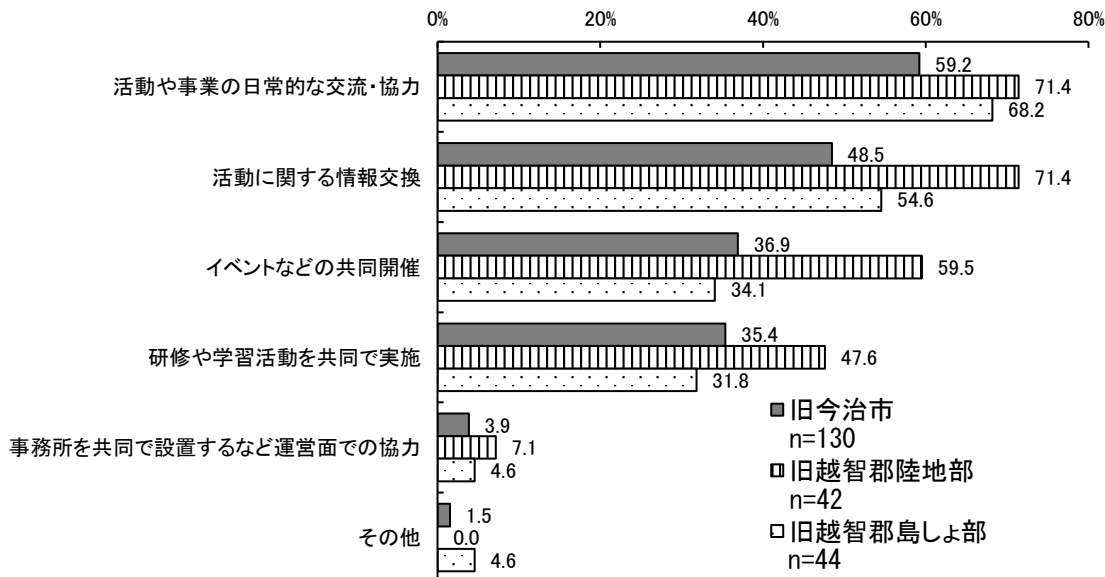
今後交流や協力したと思う内容をみると、「研修や学習活動を共同で実施」の割合が24.3%と最も多く、次いで、「活動に関する情報交換」(21.1%)、「イベントなどの共同開催」(20.2%)となっています。



【地区-現在】

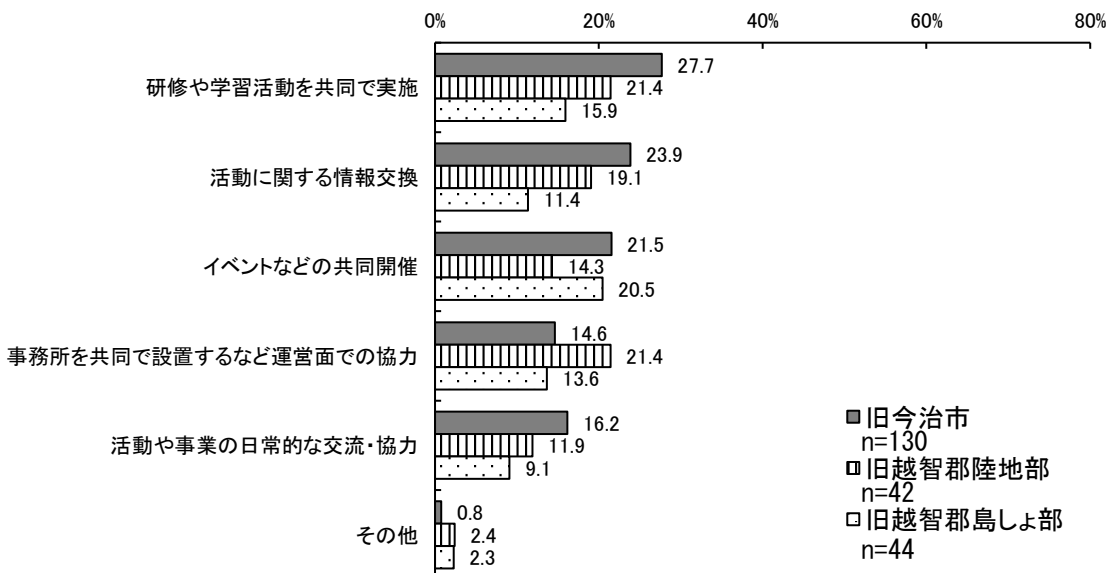
現在の状況について地区別でみると、旧今治市では「活動や事業の日常的な交流・協力」が59.2%と最も割合が大きく、次いで「活動に関する情報交換」(48.5%)となっています。旧越智郡陸地部では「活動や事業の日常的な交流・協力」、「活動に関する情報交換」が共に71.4%で最も高くなっています。旧越智郡島しょ部では「活動や事業の日常的な交流・協力」が68.2%と最も大きく、次いで「活動に関する情報交換」(54.6%)となっています。

旧越智郡陸地部の「イベントなどの共同開催」が他の地区と比べて大きく、旧今治市よりも22.6ポイント大きくなっています。同じく「研修や学習活動を共同で実施」も他と比べて大きく、旧今治市よりも12.2ポイント大きくなっています。



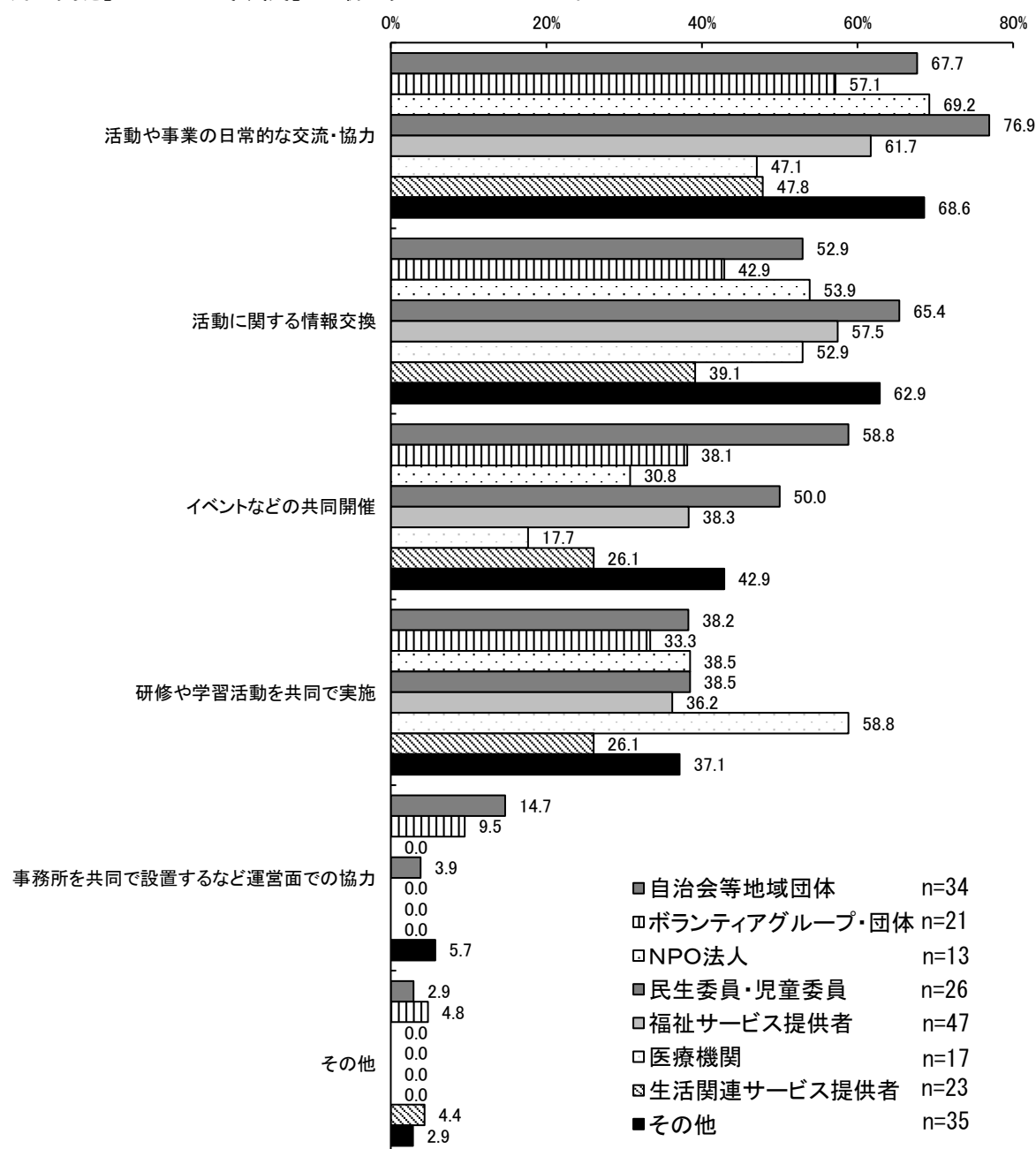
【地区-今後】

今後について地区別でみると、旧今治市では「研修や学習活動を共同で実施」の割合が27.7%と最も大きく、次いで「活動に関する情報交換」(23.9%)、「イベントなどの共同開催」(21.5%)となっています。旧越智郡陸地部では「研修や学習活動を共同で実施」、「事務所を共同で設置するなど運営面での協力」が共に21.4%と最も大きく、次いで「活動に関する情報交換」(19.1%)となっています。旧越智郡島しょ部では「イベントなどの共同開催」が20.5%と最も大きく、次いで「研修や学習活動を共同で実施」(15.9%)となっています。



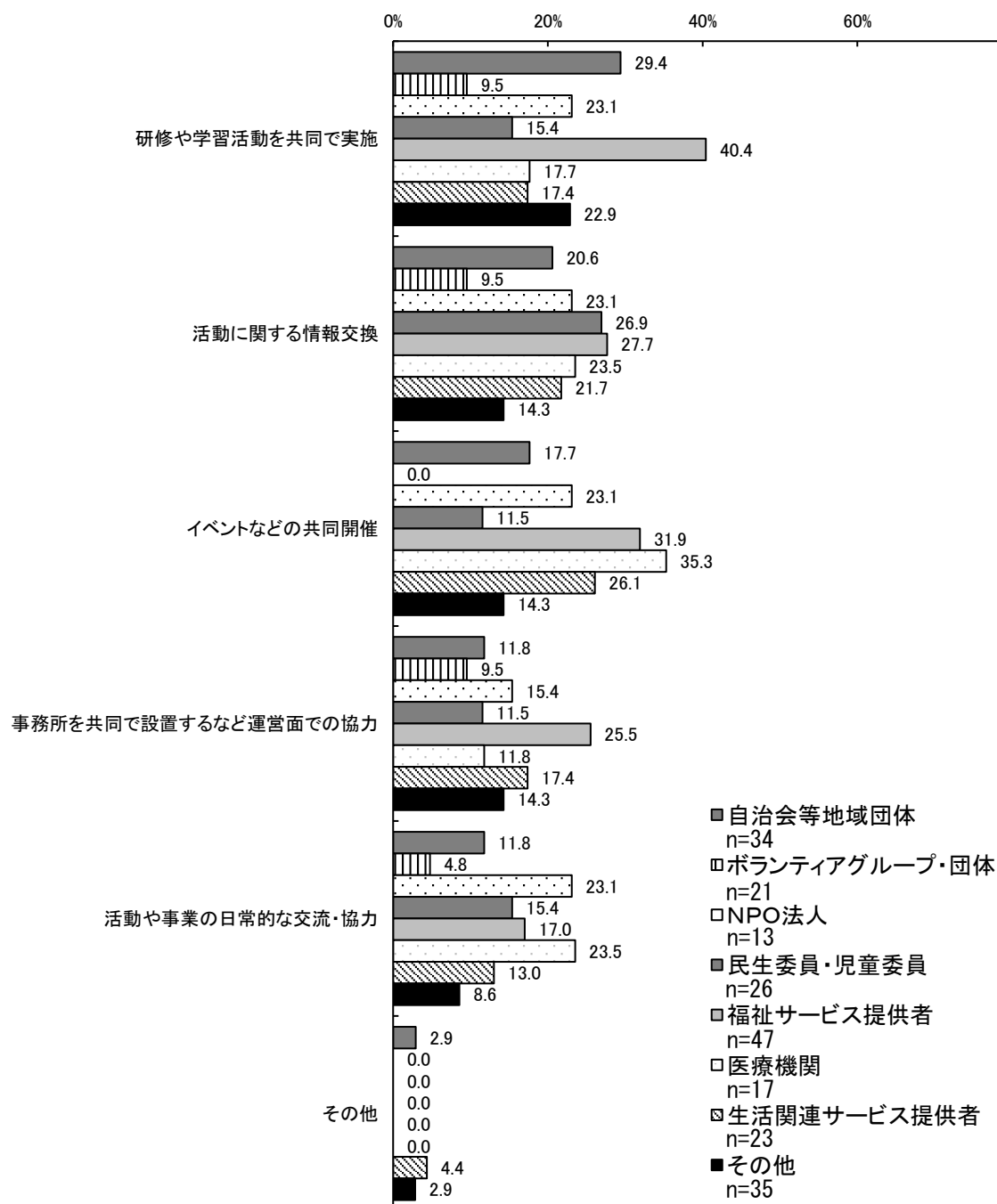
【団体区分-現在】

現在の状況を団体別でみると、「イベントなどの共同開催」、「事務所を共同で設置するなど運営面での協力」では「自治会等地域団体」の割合が最も多くなっています。「活動や事業の日常的な交流・協力」では「NPO法人」が最も多く、「活動に関する情報交換」では「民生委員・児童委員」が最も多く、「研修や学習活動を共同で実施」では「医療機関」が最も多くなっています。



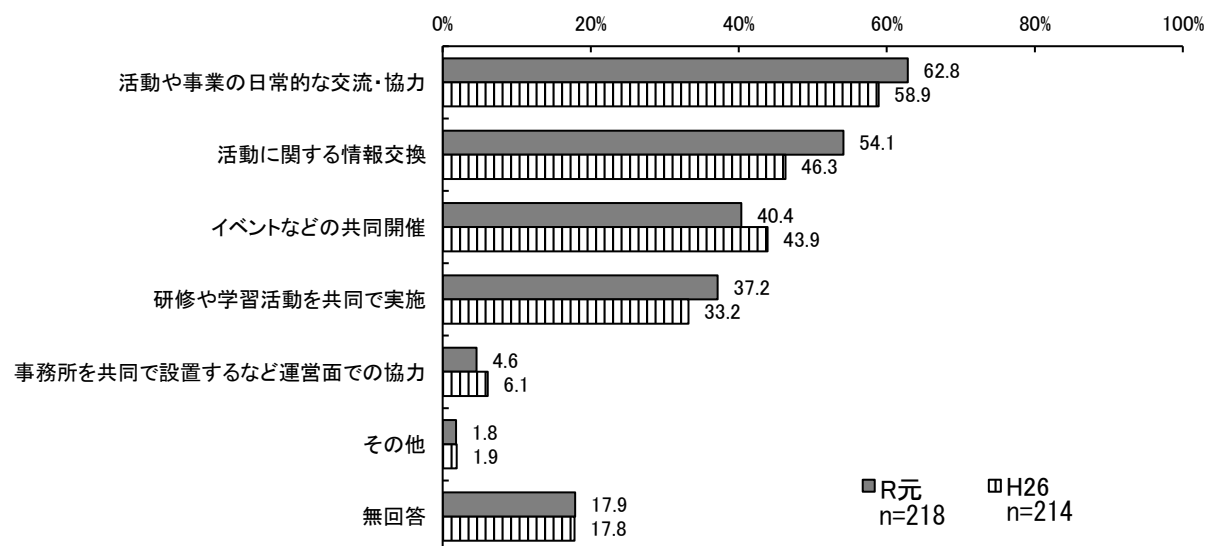
【団体区分-今後】

今後について団体別にみると、「研修や学習活動を共同で実施」、「活動に関する情報交換」、「事務所を共同で設置するなど運営面で協力」では「福祉サービス提供者」の割合が最も大きくなっています。「イベントなどの共同開催」、「活動や事業の日常的な交流・協力」では「医療機関」の割合が最も大きくなっています。



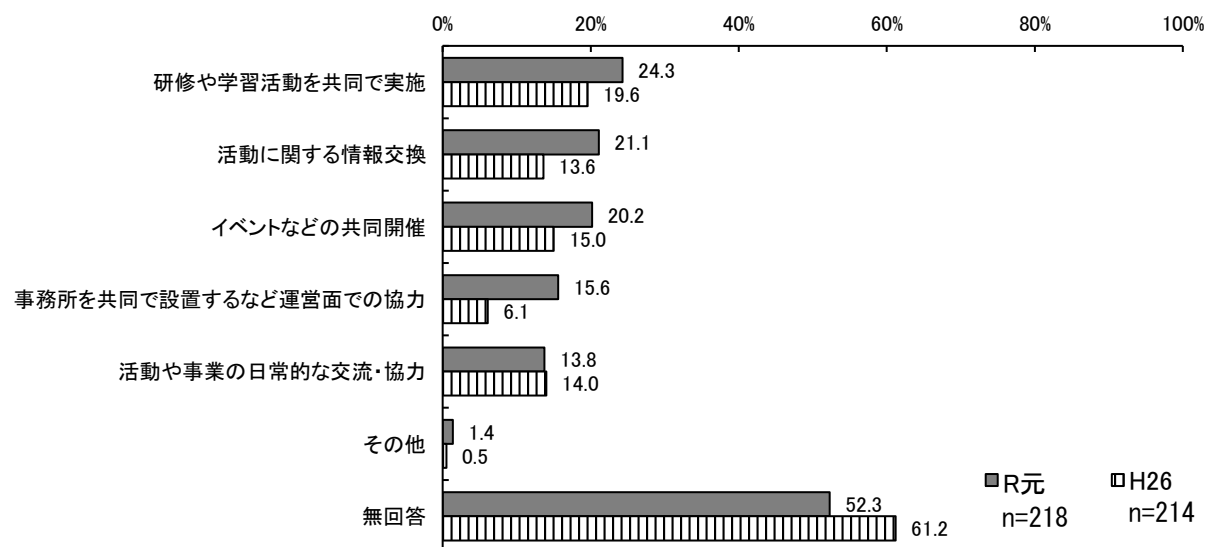
【経年変化-現在】

現在の状況について過去の調査と比べると、前回調査より「活動に関する情報交換」の割合が最も増加が大きく、前回調査よりも7.8ポイント増加しています。「イベントなどの共同開催」の割合が最も減少が大きく、3.5ポイント減少しています。



【経年変化-今後】

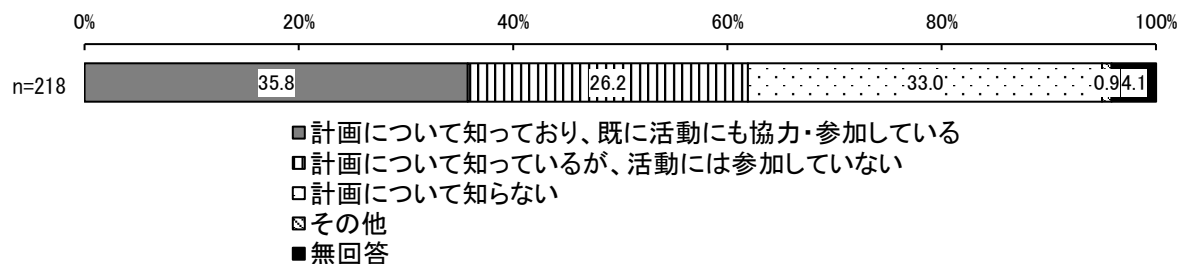
今後について過去の調査と比べると、前回調査より「事務所を共同で設置するなど運営面での協力」の割合が最も増加が大きく、9.5ポイント増加しています。唯一減少しているのが「活動や事業の日常的な交流・協力」で、前回調査よりも0.2ポイント減少しています。



問 9 今治市社会福祉協議会は、地域福祉の主たる推進役として今治市と連携、協働して地域福祉活動に取り組んでいます。昨年度、民間の活動・行動計画として「地域福祉活動計画」を策定していることを知っていますか。

		(件)
1	計画について知っており、既に活動にも協力・参加している	78
2	計画について知っているが、活動には参加していない	57
3	計画について知らない	72
4	その他	2
	無回答	9

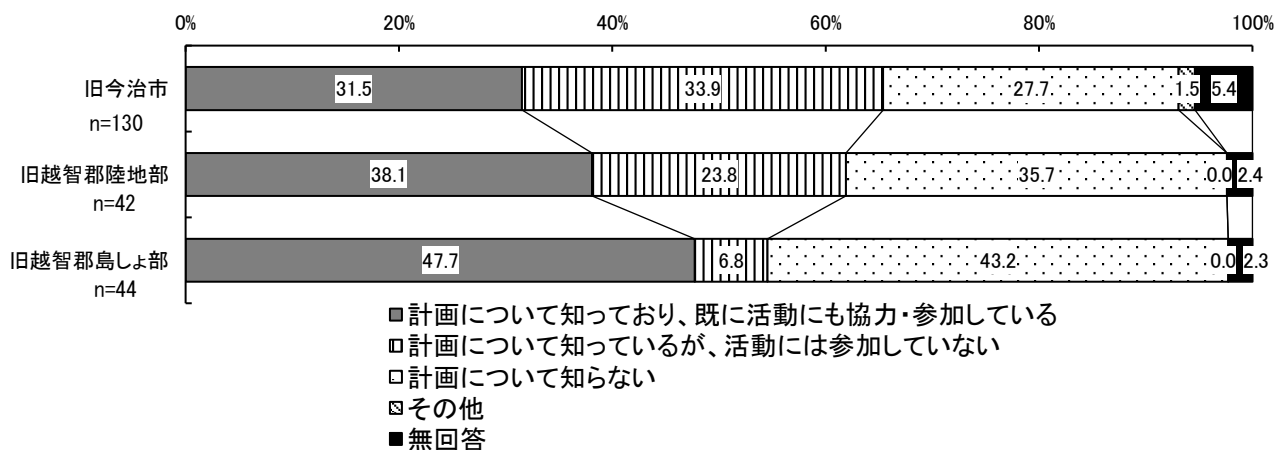
「地域福祉活動計画」について聞くと、「知っている」62.0%（「計画について知っており、既に活動にも協力・参加している」35.8%+「計画について知っているが、活動には参加していない」26.2%（以下同じ）、「計画について知らない」33.0%、「その他」0.9%となっています。



【地区】

地区別にみると、全ての地区で「知っている」の割合が50%を超え、旧今治市が65.4%（「計画について知っており、既に活動にも協力・参加している」31.5%、「計画について知っているが、活動には参加していない」33.9%）と最も高くなっています。

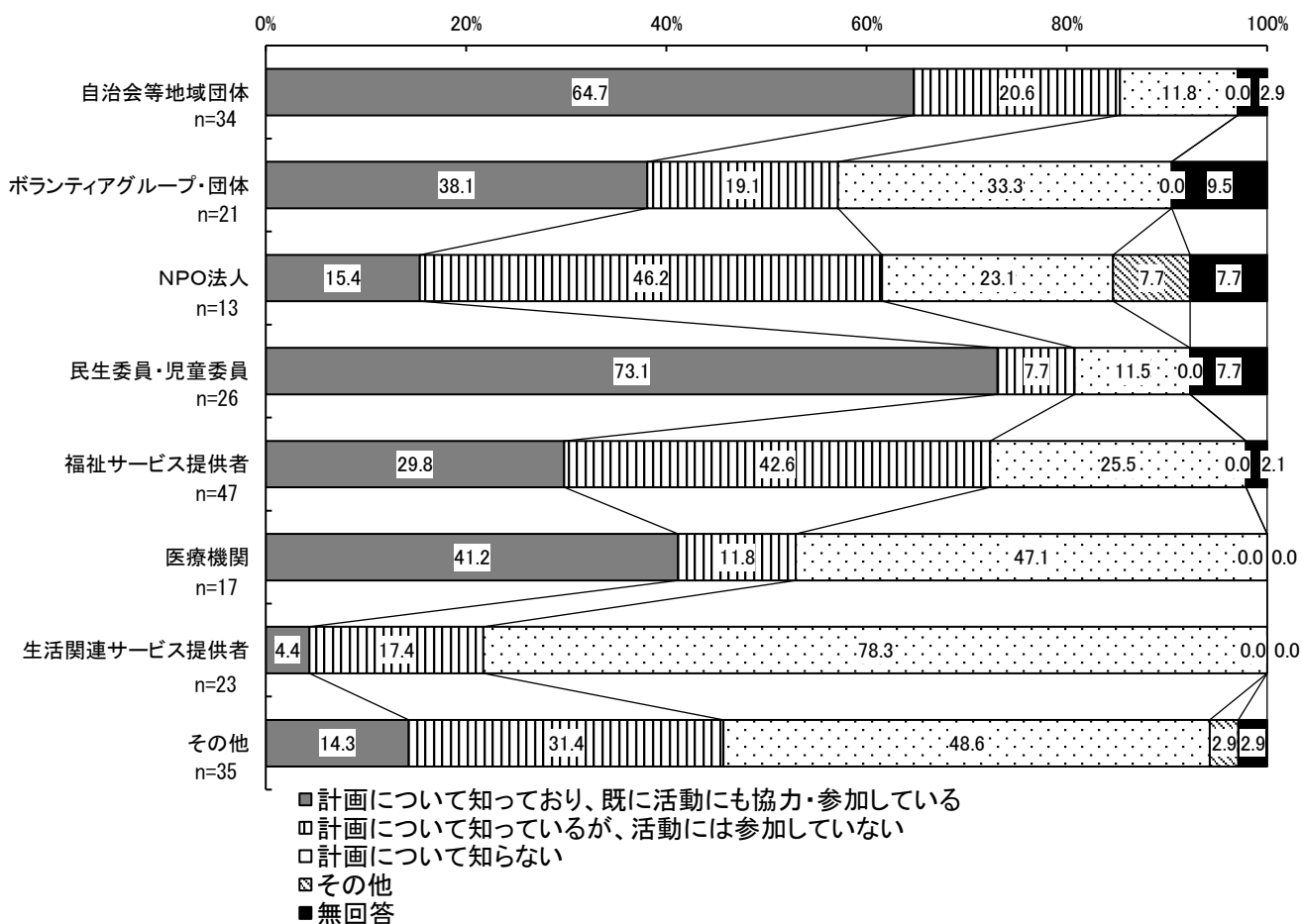
「計画について知っており、既に活動にも協力・参加している」では、旧越智郡島しょ部が47.7%と最も高く、旧今治市と比べて16.2ポイント高くなっています。



【団体区分】

団体別にみると、「生活関連サービス提供者」を除いて、全ての団体で「知っている」の割合が半分以上を占め、特に「自治会等地域団体」では「知っている」が85.3%（「計画について知っており、既に活動にも協力・参加している」64.7%+「計画について知っているが、活動には参加していない」20.6%）と最も高くなっています。

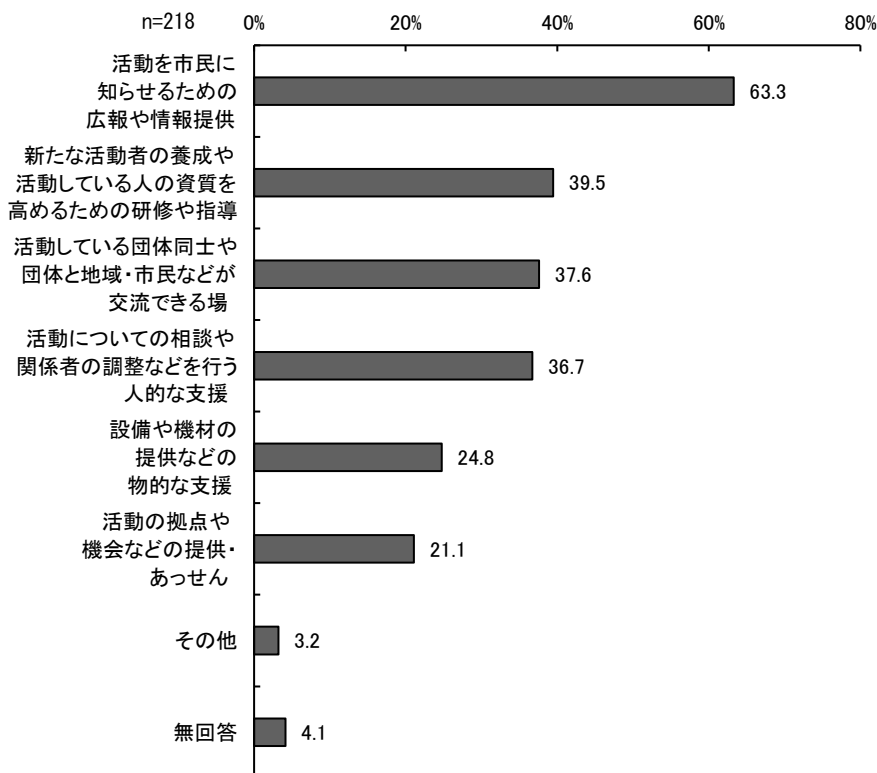
「民生委員・児童委員」の「計画について知っており、既に活動にも協力・参加している」の割合が73.1%と最も高く、次いで「自治会等地域団体」（64.7%）となっています。



問 10 今後、今治市が地域福祉推進のために取り組む施策として、次のどれを優先し、充実させる必要があると思いますか。

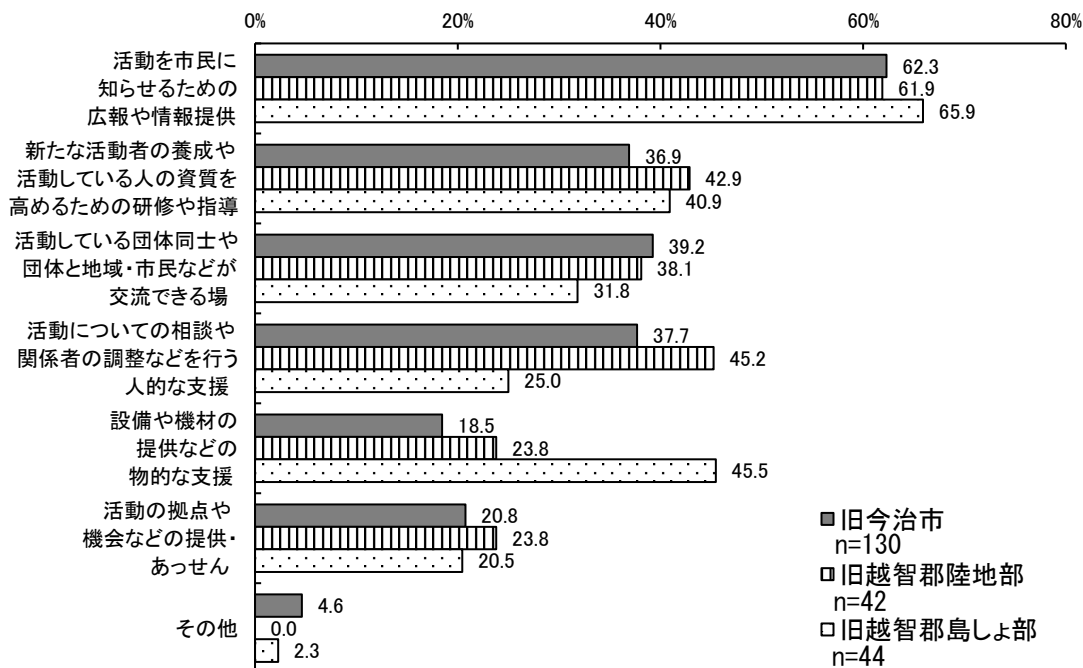
〈複数回答・3 つまで〉(件)		
1	活動を市民に知らせるための広報や情報提供	138
2	設備や機材の提供などの物的な支援	54
3	活動についての相談や関係者の調整などを行う人的な支援	80
4	新たな活動者の養成や活動している人の資質を高めるための研修や指導	86
5	活動の拠点や機会などの提供・あっせん	46
6	活動している団体同士や団体と地域・市民などが交流できる場	82
7	その他	7
	無回答	9

優先・充実させるべき施策について聞くと、「活動を市民に知らせるための広報や情報提供」の割合が63.3%と最も高く、次いで、「新たな活動者の育成や活動している人の資質を高めるための研修や指導」(39.5%)、「活動している団体同士や団体と地域・市民などが交流できる場」(37.6%)、「活動についての相談や感謝の調整などを行う人的な支援」(36.7%)となっています。



【地区】

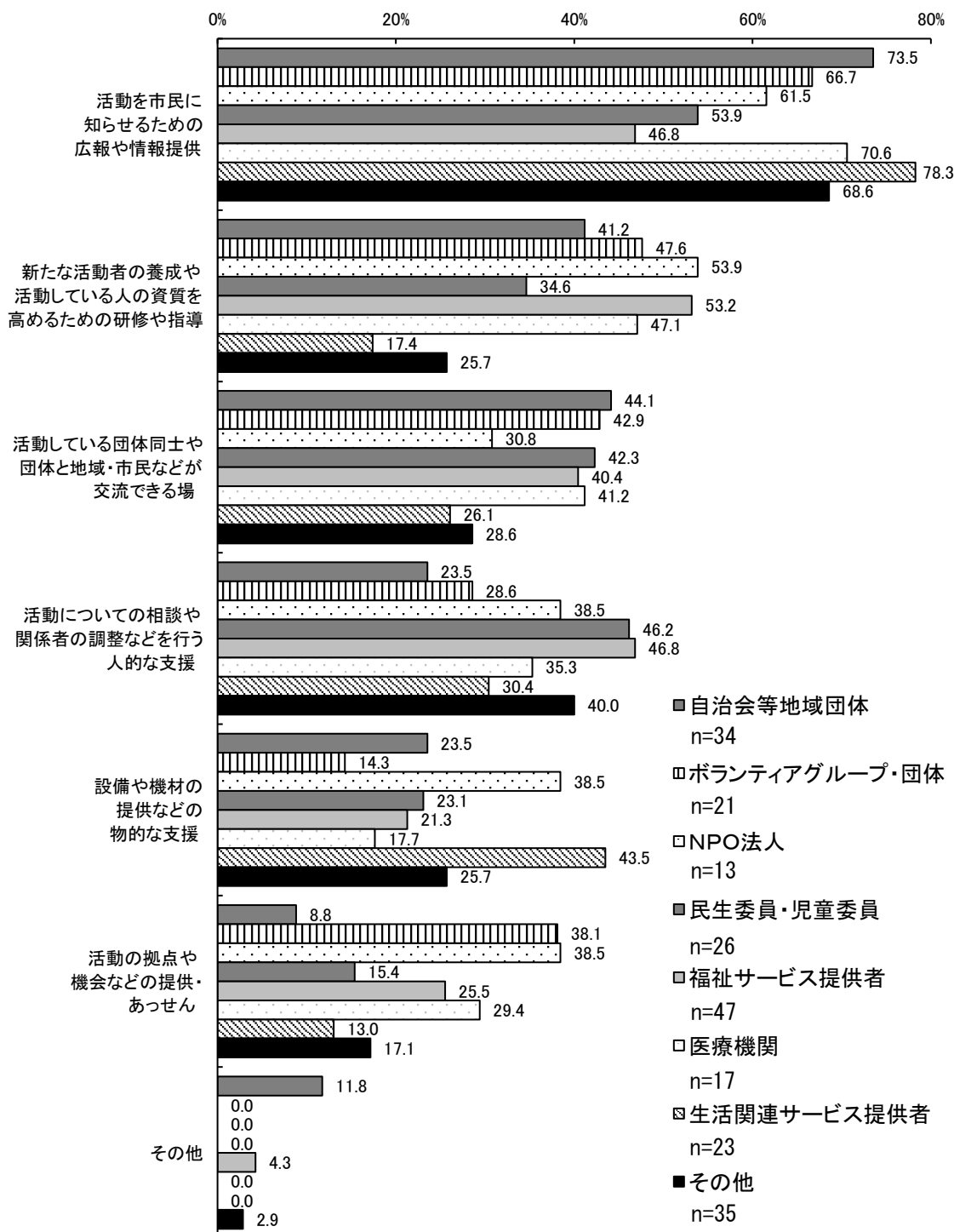
地区別にみると、全ての地区で「活動を市民に知らせるための広報や情報提供」の割合が最も高く（旧今治市 62.3%、旧越智郡陸地部 61.9%、旧越智郡島しょ部 65.9%）、次いで、旧今治市では「活動している団体同士や団体と地域・市民などが交流できる場」の割合が 39.2%と高く、旧越智郡陸地部では「活動についての相談や関係者の調整などを行う人的な支援」が 45.2%と高くなっています。旧越智郡島しょ部では「設備や機材の提供などの物的な支援」が 45.5%と高く、他と比べて 21.7 ポイント以上も高くなっています。



【団体区分】

団体別にみると、「福祉サービス提供者」を除いて、全ての団体で「活動を市民に知らせるための広報や情報提供」の割合が最も高く、中でも「生活関連サービス提供者」が78.3%と最も高くなっています。

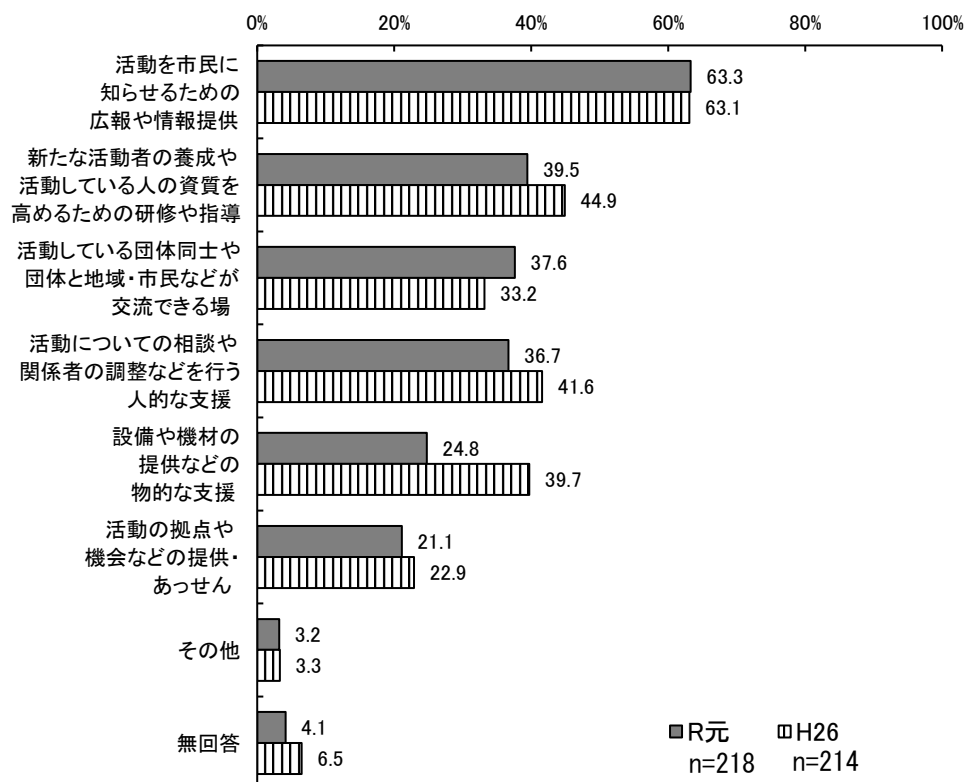
「活動を市民に知らせるための広報や情報提供」、「設備や機材の提供などの物的な支援」では「生活関連サービス提供者」の割合が最も多くなっています。「新たな活動者の養成や活動している人の資質を高めるための研修や指導」、「活動の拠点や機会などの提供・あっせん」では「NPO法人」が最も高くなっています。



【経年変化】

過去の調査と比べると、「活動を市民に知らせるための広報や情報提供」が前回調査 63.1%、今回調査 63.3%でどちらも他と比べて最も割合が高くなっています。

また、「活動している団体同士や団体と地域・市民などが交流できる場」(37.6%)が前回調査(33.2%)よりも 4.4 ポイント増え、最も増加しており、「設備や機材の提供などの物的な支援」が前回調査より 14.9 ポイント減り、他と比較して最も減少しています。



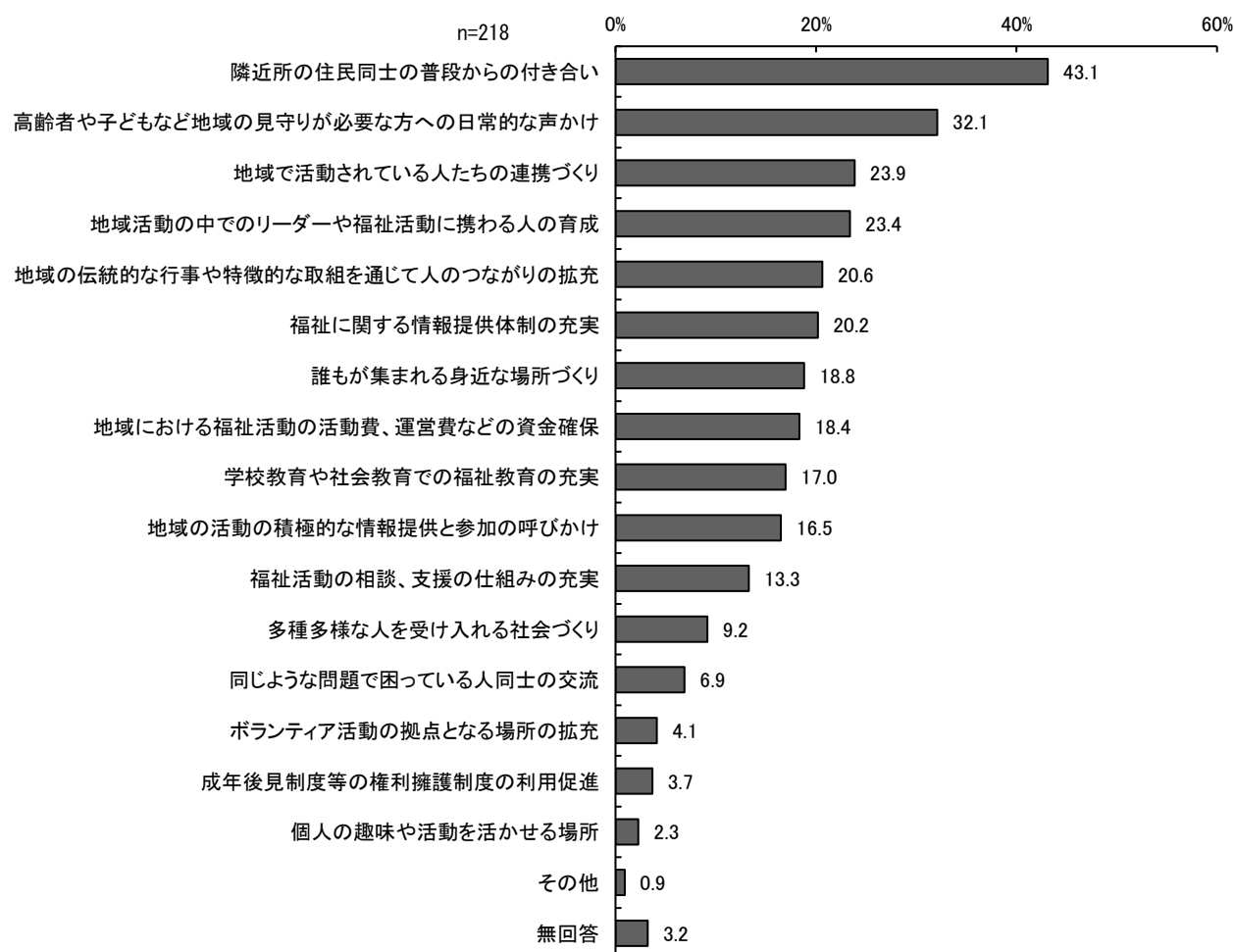
※H26 年度調査「活動に対する補助金」(57.9%)の項目は削除している。

問 11 今後、地域での福祉活動（ボランティア活動や助け合い活動）をさらに活性化させるために、どのような取組が必要であるとお考えですか。

〈複数回答・3 つまで〉（件）

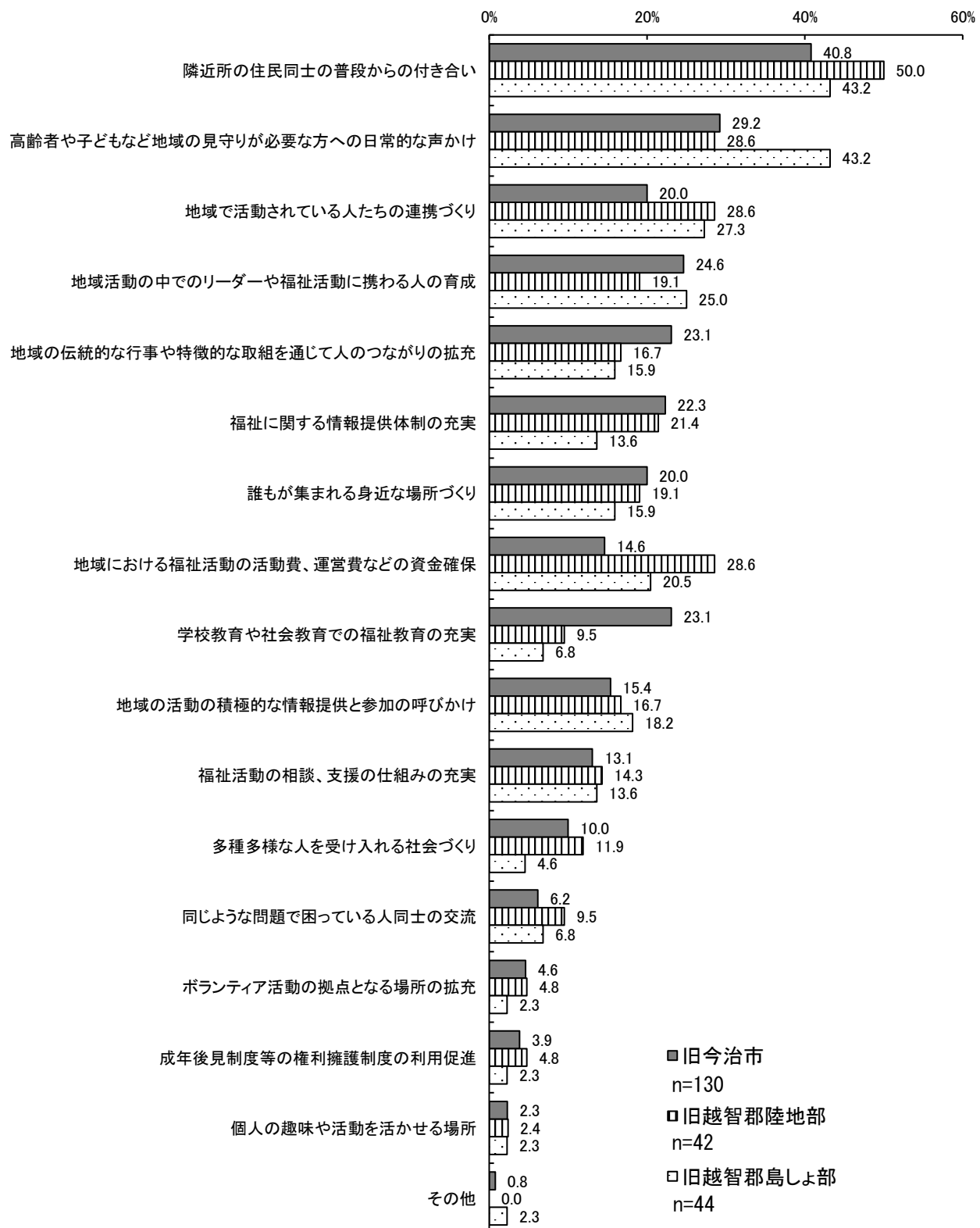
1	隣近所の住民同士の普段からの付き合い	94
2	高齢者や子どもなど地域の見守りが必要な方への日常的な声かけ	70
3	地域の伝統的な行事や特徴的な取組を通じて人のつながりの拡充	45
4	福祉に関する情報提供体制の充実	44
5	地域活動の中でのリーダーや福祉活動に携わる人の育成	51
6	地域で活動されている人たちの連携づくり	52
7	同じような問題で困っている人同士の交流	15
8	地域の活動の積極的な情報提供と参加の呼びかけ	36
9	福祉活動の相談、支援の仕組みの充実	29
10	誰もが集まれる身近な場所づくり	41
11	ボランティア活動の拠点となる場所の拡充	9
12	地域における福祉活動の活動費、運営費などの資金確保	40
13	学校教育や社会教育での福祉教育の充実	37
14	個人の趣味や活動を活かせる場所	5
15	成年後見制度等の権利擁護制度の利用促進	8
16	多種多様な人を受け入れる社会づくり	20
17	その他	2
	無回答	7

地域での福祉活動の活性化のために必要な取組についてみると、「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」の割合が46.1%と最も割合が高く、次いで、「高齢者や子どもなど地域の見守りが必要な方への日常的な声かけ」（32.1%）、「地域で活動されている人たちの連携づくり」（23.9%）となっています。



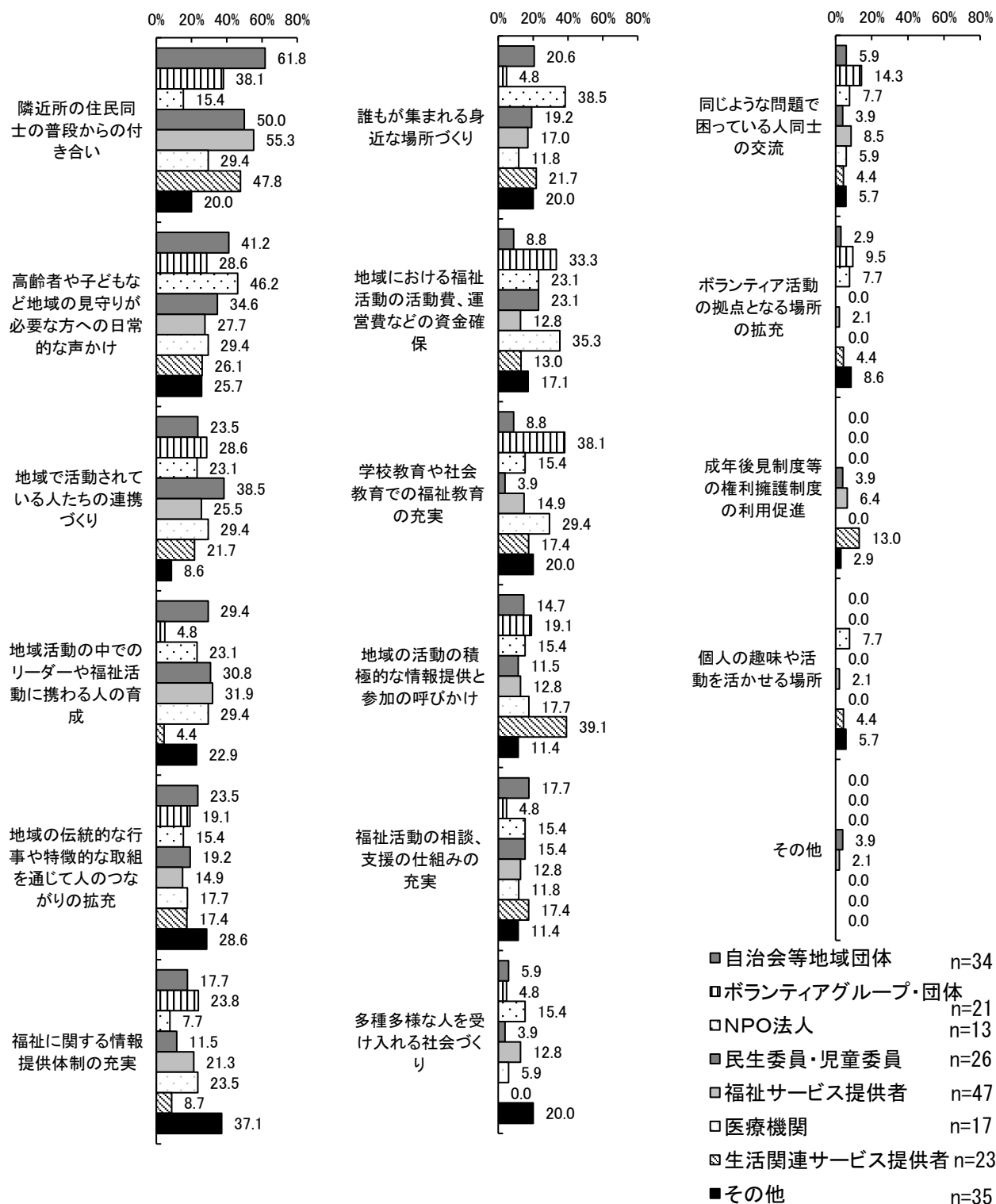
【地区】

地区別にみると、旧今治市では「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」の割合が40.8%と最も高く、次いで「高齢者や子供など地域の見守りが必要な方への日常的な声かけ」（29.2%）、「地域活動の中でのリーダーや福祉活動に携わる人の育成」（24.6%）となっています。旧越智郡陸地部では「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」が50.0%と最も高く、次いで「高齢者や子供など地域の見守りが必要な方への日常的な声かけ」、「地域で活動されている人たちの連携づくり」、「地域における福祉活動の活動費、運営費などの資金確保」がそれぞれ28.6%となっています。旧越智郡島しょ部では「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」、「高齢者や子供など地域の見守りが必要な方への日常的な声かけ」の割合が同じ43.2%で、最も多くなっています。



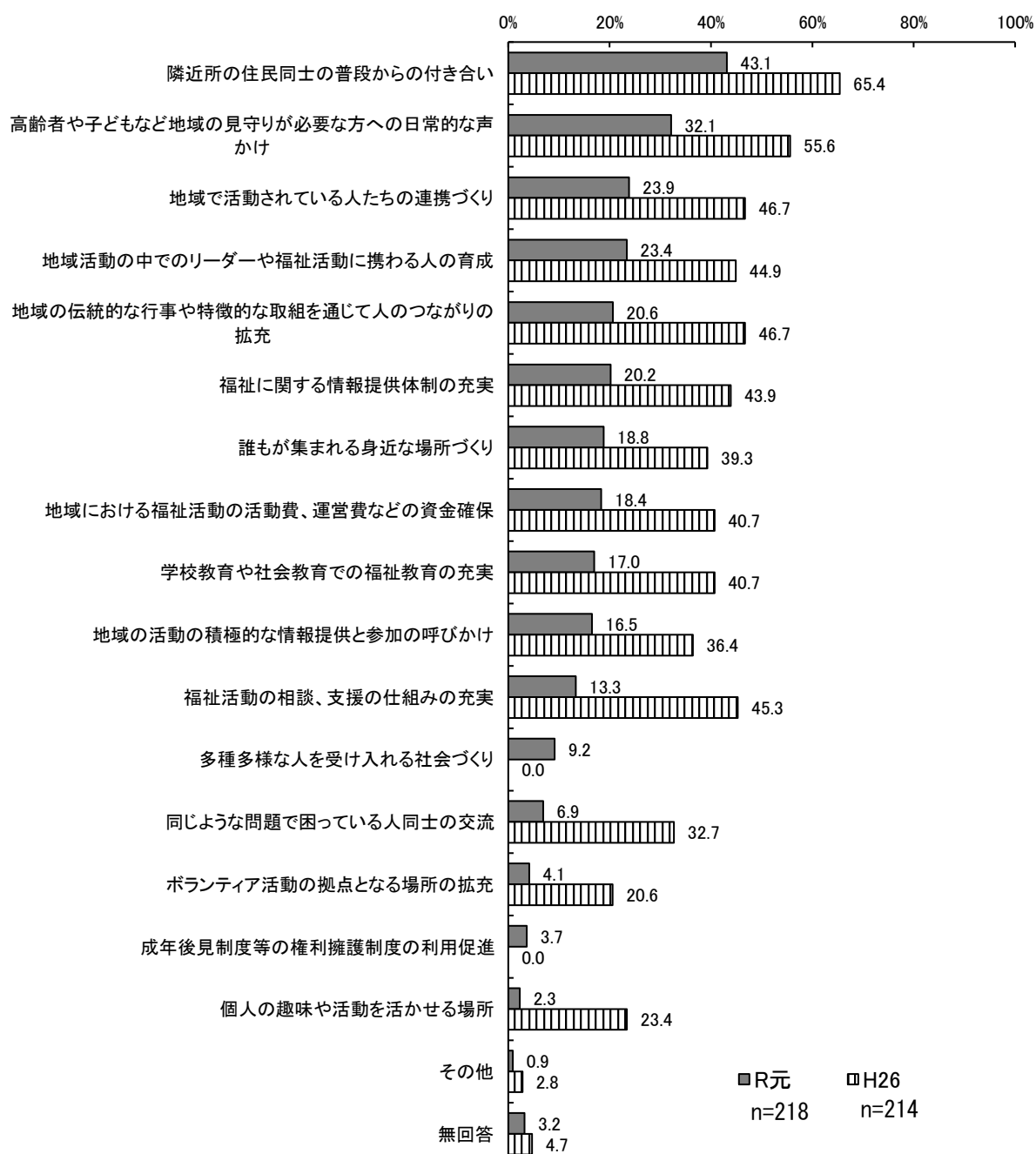
【団体区分】

団体別にみると、「隣近所の住民同士の普段からの付き合い」、「地域の伝統的な行事や特徴的な取組を通じて人のつながりの拡充」、「福祉活動の相談、支援の仕組みの充実」では「自治会等地域団体」の割合が最も高くなっています。「福祉に関する情報提供体制の充実」、学校教育や社会教育での福祉教育の充実、「同じような問題で困っている人同士の交流」、「ボランティア活動の拠点となる場所の拡充」では「ボランティアグループ・団体」の割合が最も高くなっています。「高齢者や子供など地域の見守りが必要な方への日常的な声かけ」、「誰もが集まれる身近な場所づくり」、「多種多様な人を受け入れる社会づくり」、「個人の趣味や活動を活かせる場所」では「NPO法人」の割合が最も高くなっています。



【経年変化】

過去の調査と比べると、「隣近所同士の普段からの付き合い」の割合が最も高く、次いで「高齢者や子どもなど地域の見守りが必要な方への日常的な声かけ」、「地域で活動されている人たちの連携づくり」の上位回答順位に変わりはありませんでした。



※「多種多様な人を受け入れる社会づくり」と「成年後見制度等の権利擁護制度の利用促進」はR元年度調査より新設。

H26 年度調査は、「いくつでも」の回答、R元年度は、「3 つまで」の回答となっている。

問 12 地域福祉活動を進めるためのご意見、ご要望がございましたらご記入ください。

- 日常生活に関すること (3 件)
- 高齢者に関すること (3 件)
- 子育て・教育に関すること (7 件)
- 地域に関すること (12 件)
- 行政に対する要望 (19 件)
- 災害・防犯に関すること (2 件)
- 福祉の現場に関すること (9 件)
- 障がい者などに関すること (2 件)
- 福祉サービスに関すること (3 件)
- その他 (6 件)

※資料編参照